

# 江戸川区内中小企業の景況について

2021年1月～3月期



江戸川区産業経済部産業経済課計画係

調査実施機関 一般社団法人東京都信用金庫協会

分析・作成 株式会社サーベイリサーチセンター



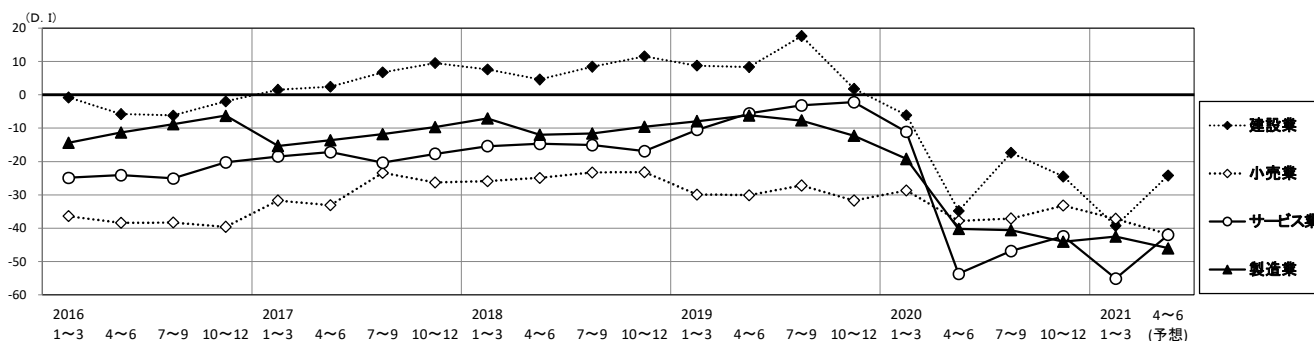
# 江戸川区内の中小企業の景況（2021年1月～3月期）

（一般社団法人 東京都信用金庫協会調べ）

**業況判断DIは前期（-38.5）から4.6ポイント低下し、悪化傾向が強まる。**

～製造業は前期同様の悪化幅で推移し、小売業はやや悪化傾向を強め、サービス業と建設業は悪化傾向がかなり強まった。～

〔過去5年間の業況D.Iの推移〕 ※(D.I=「増加回答値」-「減少回答値」)



業況判断DI（季節調整済、「良い」企業割合－「悪い」企業割合）は-43.1（前期は-38.5）と前期より4.6ポイント低下し悪化傾向が強まった。業種別に見ると、製造業は前期同様の悪化幅で推移し、小売業は悪化傾向をやや強め、サービス業と建設業は悪化傾向がかなり強まった。

来期は、サービス業と建設業は悪化傾向がかなり弱まるが、製造業と小売業は悪化傾向が強まると予想している。

	前期	今期	増減	来期予想	今期との増減
製造業	-44.0	-42.5	1.5	-46.0	-3.5
小売業	-33.2	-37.2	-4.0	-41.8	-4.6
サービス業	-42.4	-55.1	-12.7	-42.0	13.1
建設業	-24.5	-39.3	-14.8	-24.2	15.1
総合	-38.5	-43.1	-4.6	-41.5	1.6

※前期(2020年10～12月) 来期(2021年4～6月)  
※「総合」は上記の4業種でのD.I値

## ＜製造業＞

業況は前期同様の厳しさが続いた。売上額はやや減少傾向を強め、受注残、収益は前期並の減少・減益傾向が続いた。販売価格は下降傾向がやや弱まったが、原材料価格は大幅に上昇し厳しさを増した。原材料在庫数量はしばらく適正範囲に保たれていたが8期ぶりに不足感が現れてきた。

業種別に見ると、「繊維工業、衣服・その他の繊維製品」は厳しさが続くものの非常に持ち直し、「一般、金型、電気、輸送、精密機械器具」は悪化傾向ながらかなり改善した。「プラスチック製品」は厳しい状況ながら悪化傾向がやや弱まった。「食料品」と「パルプ・紙、印刷、製本業」は再び悪化傾向が強まった。「木材・木製品、家具・装備品」と「金属製品、建設用金属製品」は悪化傾向が更に強まった。

来期の業況は悪化傾向がやや強まると見ている。売上額と受注残は厳しい状況が続くものの、多少減少傾向が弱まり、収益も減益傾向がかなり弱まると予想している。

## ＜小売業＞

業況は悪化傾向がやや強まった。売上額は減少傾向がかなり強まり、収益も減益傾向が若干強まった。価格面では販売価格は下降傾向が幾分弱まり、仕入価格は下降傾向が大きく後退し良好感がなくなった。

業種別に見ると、「家具・じゅう器、家電・家庭用機械」は悪化傾向ながらかなり持ち直したが、「衣服、呉服、身の回り品」は悪化傾向が再び強まり、「飲食料品」は悪化傾向を大幅に強めた。

来期の業況は厳しさが更に増すと予想している。売上額は幾分減少傾向を強め、収益も減益傾向が多少強まると予想している。

## ＜サービス業＞

業況は悪化傾向が再び大きく強まった。売上額と収益は前期並の減少・減益傾向が続いた。料金・価格面では、料金は下降傾向を多少強め、材料価格は前期並の上昇水準が続いた。

来期の業況は厳しい状況は続くもののかなり持ち直すとしており、売上額と収益も厳しい状況ながらかなり改善すると予想している。

## ＜建設業＞

業況は悪化傾向が大きく強まった。売上額と施工高は減少傾向がかなり強まり、受注残と収益も減少・減益傾向が多少強まった。価格面では、請負価格は下降傾向がかなり改善し、材料価格は上昇傾向が若干弱まった。

来期の業況はかなり持ち直すとしており、受注残、売上額、施工高、収益も減少・減益傾向が大幅に改善すると予想している。

### ※ D.I (Diffusion Index) の略

D.I (ディーアイ) は、増加 (又は「上昇」「楽」など) したと答えた企業割合から、減少 (又は「下降」「苦しい」など) したと答えた企業割合を差引いた数値のことで、不変部分を除いて増加したとする企業と減少したとする企業のどちらの力が強いかを比べて時系列的に傾向をみようとするものです。

# 製 造 業

注：コメント中の（）内のD.I.値は（前々期→前期→今期）となっている。

## （１）業況、売上額、受注残、収益

業況（△40.6→△44.0→△→42.5）は前期同様の厳しさが続いた。

売上額（△41.4→△41.3→△45.7）はやや減少傾向を強め、受注残（△41.4→△40.3→△41.5）、収益（△42.5→△42.6→△44.1）は前期並の減少・減益傾向が続いた。

来期の見通しについて、業況（△46.0予想）は悪化傾向がやや強まると見ている。売上額（△40.3予想）と受注残（△37.8予想）は厳しい状況が続くものの、多少減少傾向が弱まり、収益（△36.0予想）も減益傾向がかなり弱まると予想している。

## （２）販売価格、原材料価格、原材料在庫数量

販売価格（△14.7→△12.1→△8.0）は下降傾向がやや弱まったが、原材料価格（△1.3→1.2→12.5）は大幅に上昇し厳しさを増した。原材料在庫数量（△1.7→△1.1→△3.0）はしばらく適正範囲に保たれていたが8期ぶりに不足感が現れてきた。

来期の見通しについて、販売価格（△7.1予想）と原材料価格（10.7予想）は今期同様の水準で推移すると見ており、原材料在庫数量（△3.1予想）も今期並の不足感が続く予想している。

## （３）資金繰り、借入金動向

資金繰り（△25.8→△12.6→△12.5）は前期同様の苦しさが続いたが、借入難易度（△3.5→△4.4→2.2）はかなり改善され容易な状況となった。

設備投資を「実施した」企業（10.7%→11.3%→10.7%）は前期から0.6ポイント減少した。

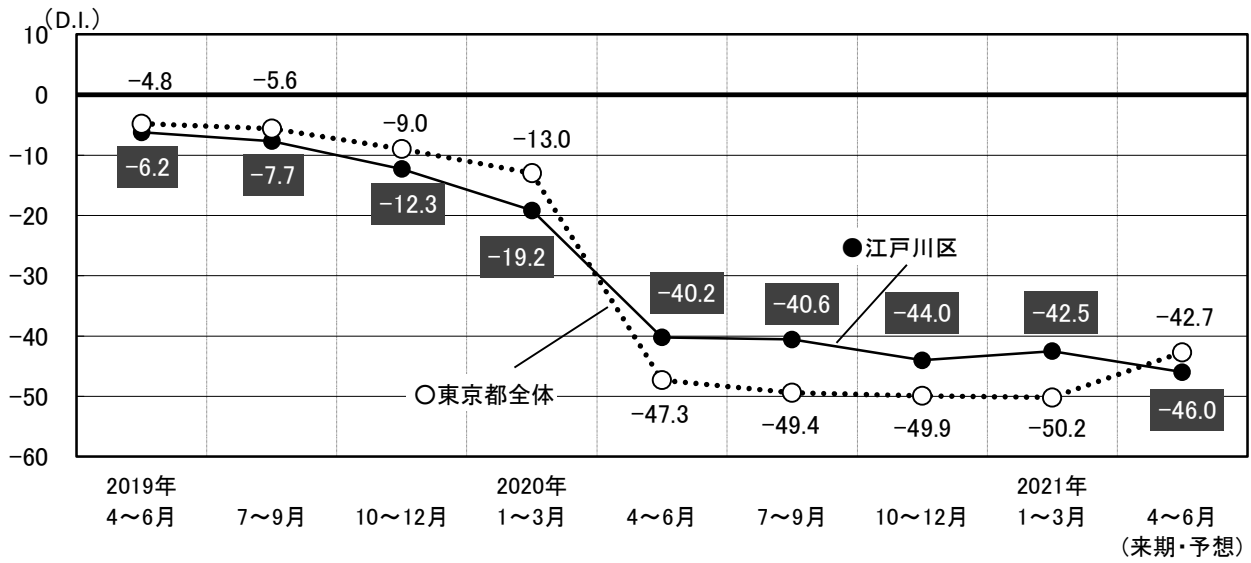
来期の見通しについて、資金繰り（△14.2予想）は今期並の厳しさで推移すると予想している。

## （４）経営上の問題点、重点経営施策

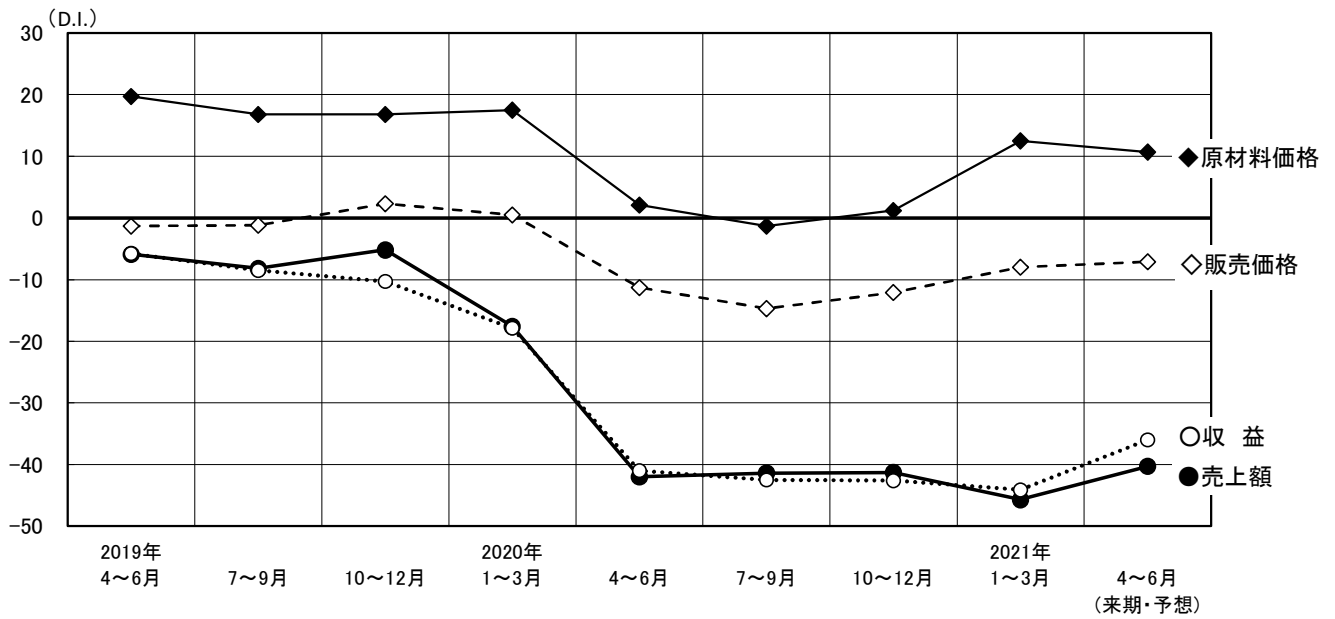
経営上の問題点は、「売上の停滞・減少」（48.7%）が今期も最多となった。以下、「同業者間の競争の激化」（18.8%）、「利幅の縮小」（13.6%）、「原材料高」（11.7%）、「人手不足」（9.1%）の順であった。

重点経営施策は、「販路を広げる」（52.6%）が今期も最多となった。以下、「経費を節減する」（46.8%）、「情報力を強化する」（13.6%）、「新製品・技術を開発する」（7.8%）、「人材を確保する」、「機械化を推進する」（各5.8%）の順であった。

【製造業】 業況（江戸川区と東京都全体の比較）

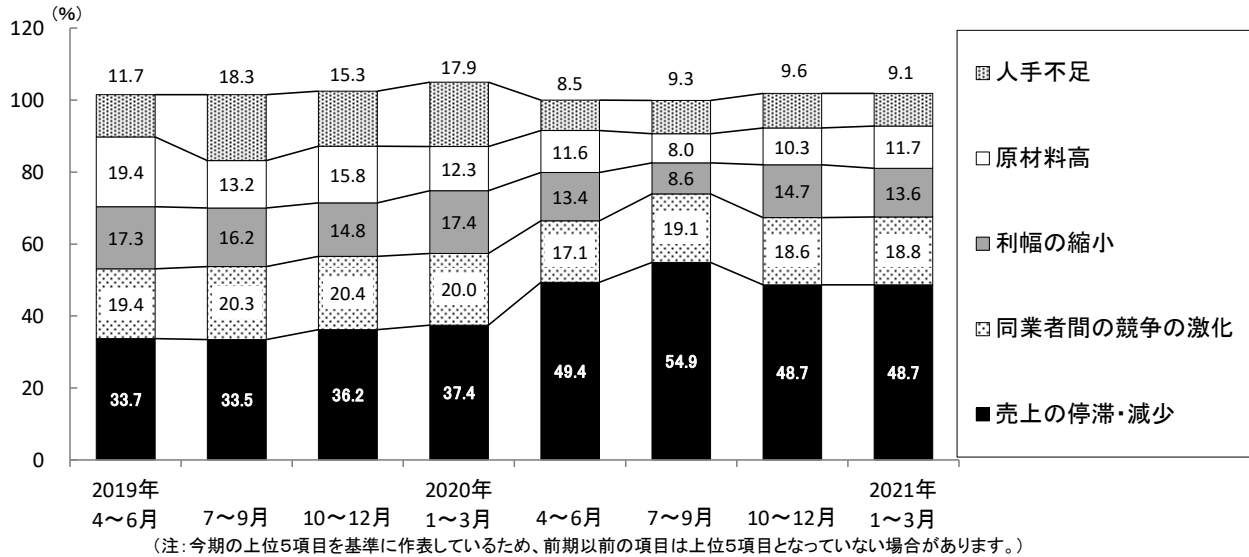


【製造業】 売上額・収益・販売価格・原材料価格の推移



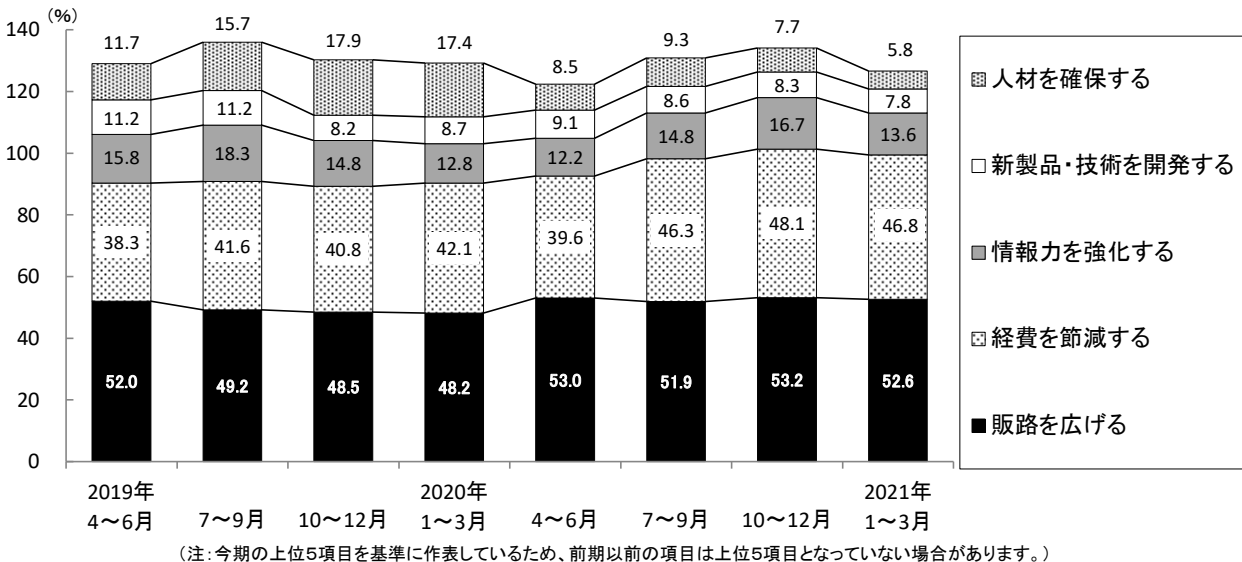
**【製造業】 経営上の問題点 (複数回答)**

2020年4～6月期		2020年7～9月期		2020年10～12月期		2021年1～3月期	
売上の停滞・減少	49.4%	売上の停滞・減少	54.9%	売上の停滞・減少	48.7%	売上の停滞・減少	48.7%
同業者間の競争の激化	17.1%	同業者間の競争の激化	19.1%	同業者間の競争の激化	18.6%	同業者間の競争の激化	18.8%
利幅の縮小	13.4%	人手不足	9.3%	利幅の縮小	14.7%	利幅の縮小	13.6%
原材料高	11.6%	利幅の縮小	8.6%	大手企業との競争の激化	10.9%	原材料高	11.7%
人手不足 大手企業との競争の激化 工場・機械の狭小・老朽化 販売納入先からの値下げ要請	8.5%	原材料高 大手企業との競争の激化 販売納入先からの値下げ要請	8.0%	原材料高	10.3%	人手不足	9.1%



**【製造業】 重点経営施策 (複数回答)**

2020年4～6月期		2020年7～9月期		2020年10～12月期		2021年1～3月期	
販路を広げる	53.0%	販路を広げる	51.9%	販路を広げる	53.2%	販路を広げる	52.6%
経費を節減する	39.6%	経費を節減する	46.3%	経費を節減する	48.1%	経費を節減する	46.8%
情報力を強化する	12.2%	情報力を強化する	14.8%	情報力を強化する	16.7%	情報力を強化する	13.6%
新製品・技術を開発する	9.1%	人材を確保する	9.3%	新製品・技術を開発する	8.3%	新製品・技術を開発する	7.8%
人材を確保する	8.5%	新製品・技術を開発する	8.6%	人材を確保する 提携先を見つける	7.7%	人材を確保する 機械化を推進する	5.8%



## 製造業の中分類業種別動向

注：コメント中の（）内のD.I.値は（前々期→前期→今期）となっている。

### ① 食料品

業況（ $\Delta 57.2 \rightarrow \Delta 50.8 \rightarrow \Delta 59.8$ ）は悪化傾向が再び強まった。売上額（ $\Delta 63.0 \rightarrow \Delta 60.6 \rightarrow \Delta 58.4$ ）と収益（ $\Delta 65.5 \rightarrow \Delta 50.7 \rightarrow \Delta 49.0$ ）は前期同様の減少・減益幅で推移したが、受注残（ $\Delta 46.7 \rightarrow \Delta 42.8 \rightarrow \Delta 57.2$ ）は減少傾向が大幅に強まった。

販売価格（ $\Delta 7.6 \rightarrow \Delta 0.7 \rightarrow \Delta 0.5$ ）はほぼ変動なく推移し、原材料価格（ $7.5 \rightarrow 4.1 \rightarrow 1.8$ ）は上昇が弱まり落ち着きを見せてきた。

資金繰り（ $\Delta 34.1 \rightarrow \Delta 3.2 \rightarrow 1.9$ ）は窮屈感を脱したが、借入難易度（ $0.0 \rightarrow \Delta 12.5 \rightarrow \Delta 14.3$ ）は前期同様の苦しさが続いた。

来期の見通しは、業況（ $\Delta 59.9$  予想）は今期同様の厳しさが続くと見ている。売上額（ $\Delta 60.6$  予想）は前期同様の減少傾向が続き、受注残（ $\Delta 61.0$  予想）は減少傾向がやや強まり、収益（ $\Delta 59.4$  予想）は減益傾向が大きく強まると見ている。販売価格（ $\Delta 4.5$  予想）は下降傾向をわずかに強め、原材料価格（ $\Delta 0.6$  予想）は上昇からわずかに下降に転じると予想している。

### ② 一般、金型、電気、輸送、精密機械器具

業況（ $\Delta 30.5 \rightarrow \Delta 48.5 \rightarrow \Delta 36.3$ ）は悪化傾向ながらかなり改善したが、売上額（ $\Delta 26.4 \rightarrow \Delta 33.8 \rightarrow \Delta 37.3$ ）は幾分減少を強め、受注残（ $\Delta 34.3 \rightarrow \Delta 28.2 \rightarrow \Delta 37.9$ ）と収益（ $\Delta 33.0 \rightarrow \Delta 32.8 \rightarrow \Delta 43.4$ ）は減少・減益傾向が大幅に強まった。

販売価格（ $\Delta 10.4 \rightarrow \Delta 3.0 \rightarrow \Delta 2.2$ ）は前期並の水準で推移したが、原材料価格（ $\Delta 2.6 \rightarrow 2.4 \rightarrow 12.7$ ）は大幅に上昇し厳しさが強まった。

資金繰り（ $\Delta 28.7 \rightarrow \Delta 16.2 \rightarrow \Delta 9.7$ ）は厳しさがかなり和らいだが、借入難易度（ $\Delta 11.1 \rightarrow \Delta 8.3 \rightarrow \Delta 8.7$ ）は前期並の苦しさが続いた。

来期の見通しは、業況（ $\Delta 41.9$  予想）は再び悪化傾向が強まると見ているが、売上額（ $\Delta 32.6$  予想）は減少傾向が多少弱まり、受注残（ $\Delta 28.1$  予想）と収益（ $\Delta 26.5$  予想）も厳しい状況は続くものの減少・減益傾向がかなり改善すると見込まれている。販売価格（ $\Delta 6.0$  予想）は下降傾向が若干弱まり、原材料価格（ $3.1$  予想）は上昇傾向がかなり弱まり落ち着きを見せると予想している。

### ③ 金属製品、建設用金属製品

業況（ $\Delta 19.6 \rightarrow \Delta 29.4 \rightarrow \Delta 34.5$ ）は悪化傾向が更に強まった。売上額（ $\Delta 22.8 \rightarrow \Delta 25.1 \rightarrow \Delta 54.3$ ）は大幅に低迷し、受注残（ $\Delta 22.1 \rightarrow \Delta 34.4 \rightarrow \Delta 44.5$ ）と収益（ $\Delta 18.5 \rightarrow \Delta 31.6 \rightarrow \Delta 44.3$ ）は減少・減益傾向が更に強まった。

販売価格（ $\Delta 1.9 \rightarrow \Delta 17.3 \rightarrow \Delta 14.4$ ）は下降傾向がわずかに弱まったが、原材料価格（ $13.2 \rightarrow 12.2 \rightarrow 36.2$ ）は上昇傾向が極端に強まり厳しさを強めた。

資金繰り（ $\Delta 16.0 \rightarrow \Delta 11.5 \rightarrow \Delta 20.3$ ）は厳しさがかなり増したが、借入難易度（ $3.9 \rightarrow 12.5 \rightarrow 16.0$ ）は容易さがさらに強まり楽になった。

来期の見通しは、業況（ $\Delta 44.4$  予想）は悪化傾向がさらに強まると見ているが、売上額（ $\Delta 47.9$  予想）と収益（ $\Delta 41.0$  予想）は厳しい状況は続くものの減少・減益傾向がわずかに改善すると予想している。受注残（ $\Delta 44.4$  予想）は今期同様の減少傾向が続くと見ている。販売価格（ $\Delta 3.6$  予想）は厳しさが大きく和らぐが、原材料価格（ $37.9$  予想）は今期同様の厳しい状況が続くと予想している。

### ④ パルプ・紙、印刷、製本業

業況（ $\Delta 44.1 \rightarrow \Delta 40.2 \rightarrow \Delta 52.4$ ）は再び悪化傾向が強まった。売上額（ $\Delta 42.4 \rightarrow \Delta 48.4 \rightarrow \Delta 50.2$ ）は前期並の減少傾向が続いたが、収益（ $\Delta 41.7 \rightarrow \Delta 55.6 \rightarrow \Delta 50.1$ ）は厳しい状況ながら減益傾向が多少弱まった。受注残（ $\Delta 40.6 \rightarrow \Delta 42.5 \rightarrow \Delta 28.6$ ）は減少傾向が大幅に改善された。

販売価格（ $\Delta 19.6 \rightarrow \Delta 17.8 \rightarrow \Delta 12.3$ ）は厳しさがわずかに和らいだが、原材料価格（ $\Delta 11.7 \rightarrow \Delta 4.2 \rightarrow 1.2$ ）は下降から上昇に転じて厳しい状況となった。

資金繰り（ $\Delta 18.7 \rightarrow \Delta 11.8 \rightarrow 0.2$ ）は厳しい状況を脱し、借入難易度（ $\Delta 6.3 \rightarrow \Delta 5.6 \rightarrow 0.0$ ）も窮屈感がなくなった。

来期の見通しは、業況（ $\Delta 59.1$  予想）は悪化傾向が更に強まると見ている。売上額（ $\Delta 48.3$  予想）と収益（ $\Delta 48.1$  予想）は厳しい状況は続くが若干の改善が予想されるが、受注残（ $\Delta 32.9$  予想）は多少減少傾向を強めると予想している。販売価格（ $\Delta 1.0$  予想）は大幅に持ち直して厳しさが和らぎ、原材料価格（ $\Delta 1.7$  予想）はわずかに下降に転じて好感が現れると予想している。

## ⑤ 木材・木製品、家具・装備品

業況 (△42.8→△49.8→△60.1) は悪化傾向が更に強まった。売上額 (△41.3→△60.5→△52.4) と収益 (△40.7→△59.0→△52.5) は厳しい状況ながら減少・減益傾向がかなり弱まったが、受注残 (△41.6→△53.5→△52.9) は前期並の厳しい状況が続いた。

販売価格 (△3.0→△13.7→△0.2) は下降傾向が大幅に改善し一服した。原材料価格 (△3.1→△0.4→0.5) は前期同様の水準で推移した。

資金繰り (△21.3→△8.8→△1.4) は厳しさが大きく和らぎ、借入難易度 (0.0→0.0→0.0) は前期同様の水準で推移した。

来期の見通しは、業況 (△48.2 予想) は厳しい状況は続くもののかなり持ち直すと見ており、売上額 (△33.5 予想)、受注残 (△31.9 予想)、収益 (△34.0 予想) も同様に厳しい状況ながら減少・減益傾向が大幅に改善されると予想している。販売価格 (△1.2 予想) と原材料価格 (0.1 予想) はともに今期並の水準で推移すると予想している。

## ⑥ 繊維工業、衣服・その他の繊維製品

業況 (△60.4→△52.9→△20.2) は厳しさが続くものの非常に持ち直した。売上額 (△70.3→△45.9→△22.7) と受注残 (△55.7→△31.8→△22.7) も減少傾向が大幅に弱まったが、収益 (△56.8→△19.5→△18.1) は前期同様の減益傾向が続いた。

販売価格 (△14.4→△12.6→△13.5) と原材料価格 (△9.3→△9.5→△8.4) は前期同様の水準で推移した。

資金繰り (△49.4→△4.2→△13.9) は厳しさがかなり強まったが、借入難易度 (△37.5→△22.2→△12.5) は窮屈感が大幅に緩和された。

来期の見通しは、業況 (△42.3 予想) は悪化傾向が非常に強まると見ている。売上額 (△46.2 予想) と受注残 (△46.1 予想) も減少傾向を極端に強めると予想しており、収益 (△35.2 予想) も減益傾向が大幅に強まると見ている。販売価格 (△13.1 予想) と原材料価格 (△9.0 予想) は今期同様の下降水準で推移すると予想している。

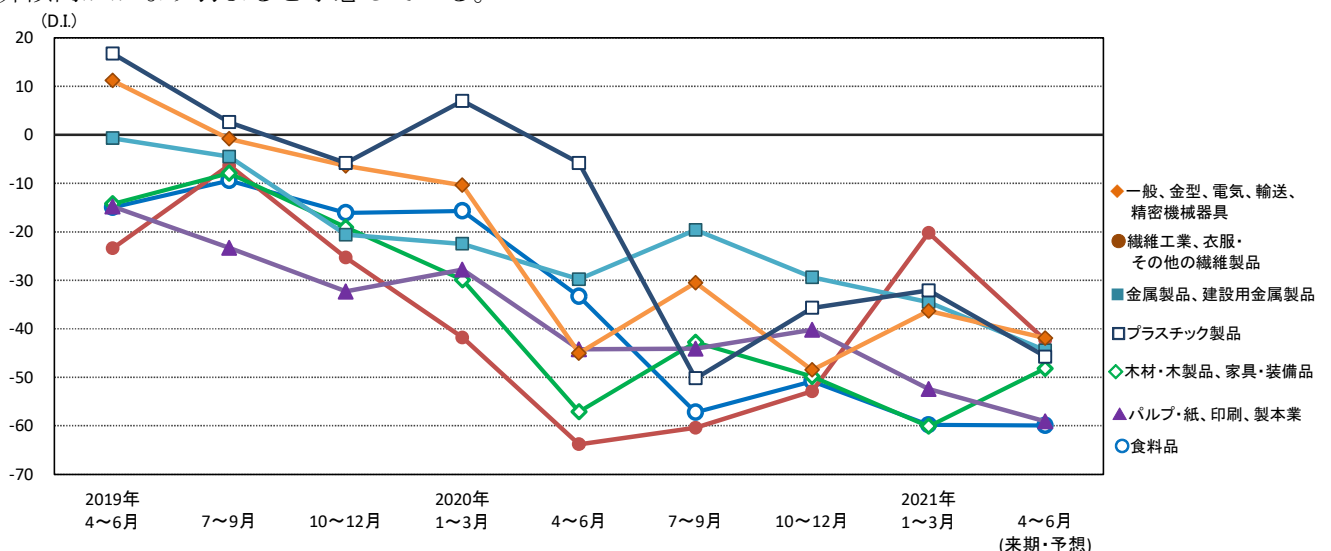
## ⑦ プラスチック製品

業況 (△50.2→△35.7→△32.1) は厳しい状況ながら悪化傾向がやや弱まった。売上額 (△63.2→△20.7→△40.6) は減少傾向を極端に強め、受注残 (△63.0→△43.8→△48.2) も減少傾向を幾分強めたが、収益 (△64.7→△42.3→△39.6) は減益傾向が多少弱まった。

販売価格 (△38.3→0.8→3.4) は上昇傾向がわずかに強まり、原材料価格 (△22.2→△7.3→25.0) は下降から上昇に極端に転じ厳しい状況となった。

資金繰り (△36.9→△6.7→△12.5) は厳しさがわずかに増し、借入難易度 (7.1→0.0→0.0) は前期同様変わらず推移した。

来期の見通しは、業況 (△45.7 予想) は再び悪化傾向が大きく強まると予想している。売上額 (△35.9 予想)、受注残 (△45.2 予想)、収益 (△35.4 予想) は厳しい状況は続くものの幾分改善すると見込まれている。販売価格 (△4.9 予想) は上昇から下降に転じて厳しい状況となるが、原材料価格 (19.1 予想) は上昇傾向がかなり弱まると予想している。





# 小 売 業

注：コメント中の（）内のD.I.値は（前々期→前期→今期）となっている。

## （１）業況、売上額、収益

業況（ $\Delta 37.1 \rightarrow \Delta 33.2 \rightarrow \Delta 37.2$ ）は悪化傾向がやや強まった。

売上額（ $\Delta 39.9 \rightarrow \Delta 37.6 \rightarrow \Delta 43.6$ ）は減少傾向がかなり強まり、収益（ $\Delta 40.2 \rightarrow \Delta 39.6 \rightarrow \Delta 42.7$ ）も減益傾向が若干強まった。

来期の見通しについて、業況（ $\Delta 41.8$ 予想）は厳しさが更に増すと予想している。売上額（ $\Delta 46.4$ 予想）は幾分減少傾向を強め、収益（ $\Delta 45.4$ 予想）も減益傾向が多少強まると予想している。

## （２）販売価格、仕入価格、在庫数量

販売価格（ $\Delta 6.8 \rightarrow \Delta 10.8 \rightarrow \Delta 5.8$ ）は下降傾向が幾分弱まり、仕入価格（ $\Delta 4.0 \rightarrow \Delta 7.4 \rightarrow 0.0$ ）は下降傾向が大きく後退し良好感がなくなった。

在庫数量（ $\Delta 0.3 \rightarrow \Delta 2.2 \rightarrow \Delta 1.6$ ）は品薄感が弱まり適正水準となった。

来期の見通しについて、販売価格（ $\Delta 10.6$ 予想）は再び下降傾向が強まり厳しが増し、仕入価格（ $\Delta 5.0$ 予想）は低下して再び良好感が現れると見ている。在庫数量（ $\Delta 2.0$ 予想）は今期同様に適正水準が保たれると予想している。

## （３）資金繰り、借入金動向

資金繰り（ $\Delta 18.6 \rightarrow \Delta 16.5 \rightarrow \Delta 19.7$ ）は厳しさが多少増し、借入難易度（ $0.0 \rightarrow \Delta 12.5 \rightarrow \Delta 12.5$ ）は前期同様の窮屈感が続いた。

設備投資を「実施した」企業（ $9.0\% \rightarrow 4.6\% \rightarrow 2.9\%$ ）は前期から1.7%減少した。

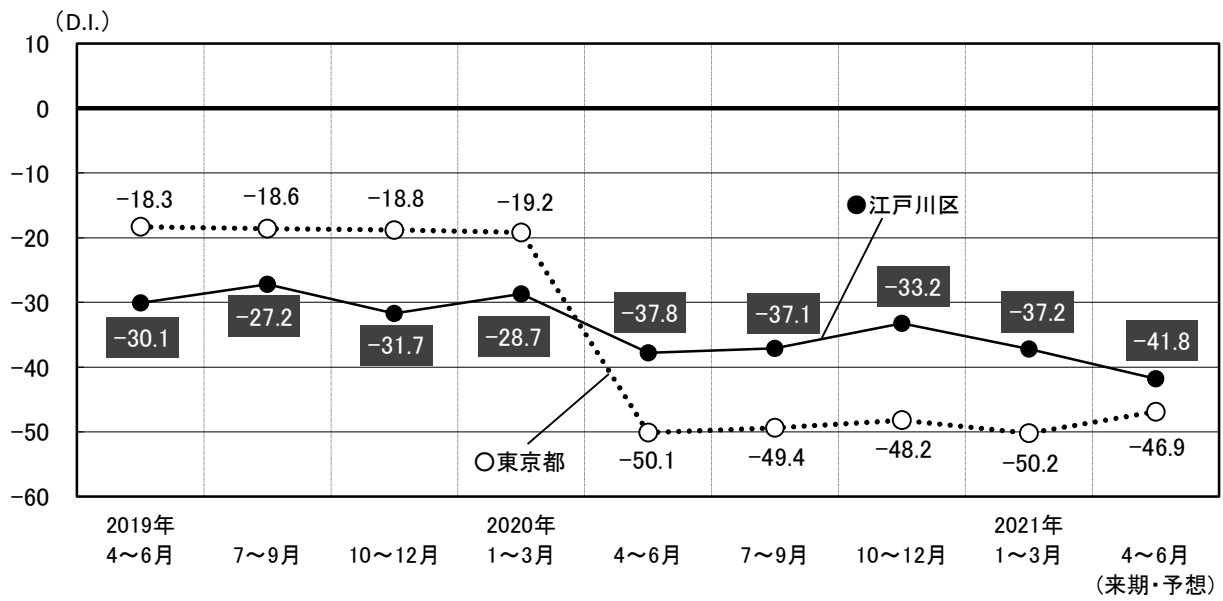
来期の見通しについて、資金繰り（ $\Delta 18.3$ 予想）は今期並の厳しさが続くと予想している。

## （４）経営上の問題点、重点経営施策

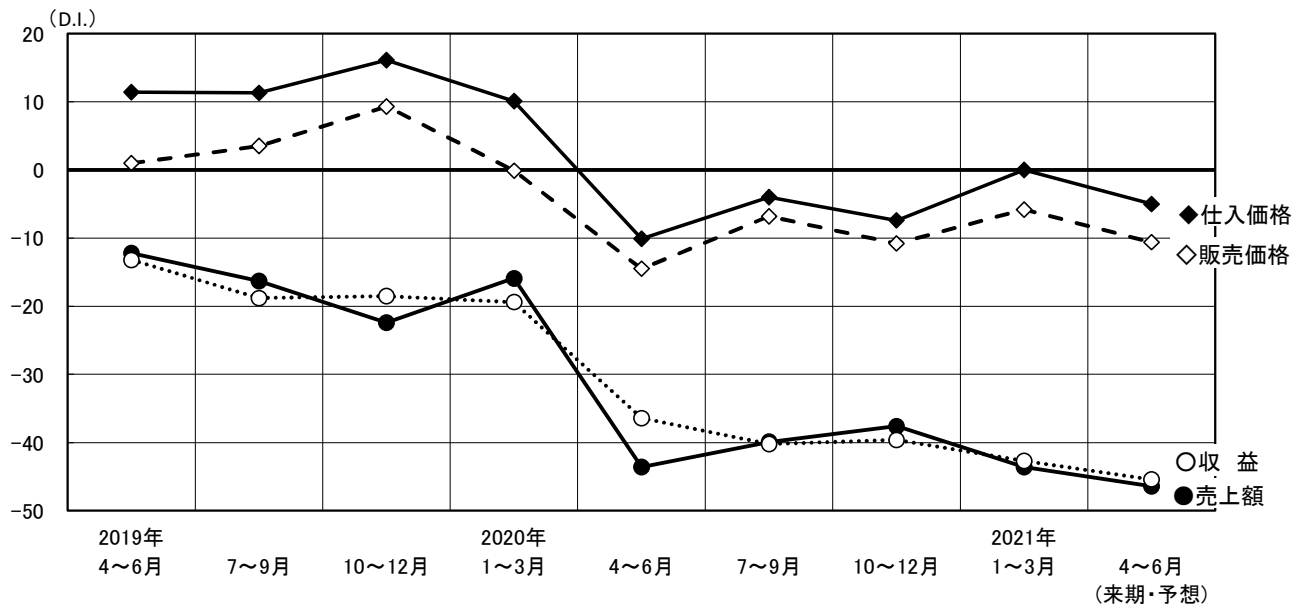
経営上の問題点は、「売上の停滞・減少」（45.8%）が今期も最多となった。以下、「同業者間の競争の激化」（26.4%）、「大型店との競争の激化」（25.0%）、「商店街の集客力の低下」（16.7%）、「利幅の縮小」（8.3%）の順であった。

重点経営施策は、「経費を節減する」（36.1%）が今期も最多となった。以下、「品揃えを改善する」（27.8%）、「宣伝・広報を強化する」（22.2%）、「売れ筋商品を取り扱う」（15.3%）、「商店街事業を活性化させる」（12.5%）の順であった。

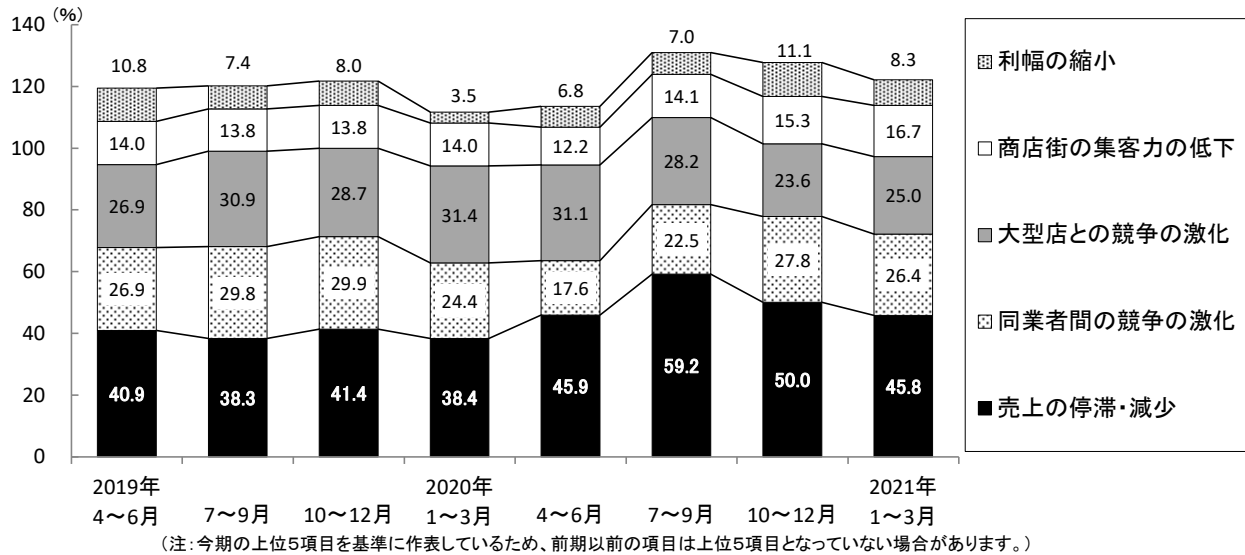
【小売業】 業況（江戸川区と東京都全体の比較）



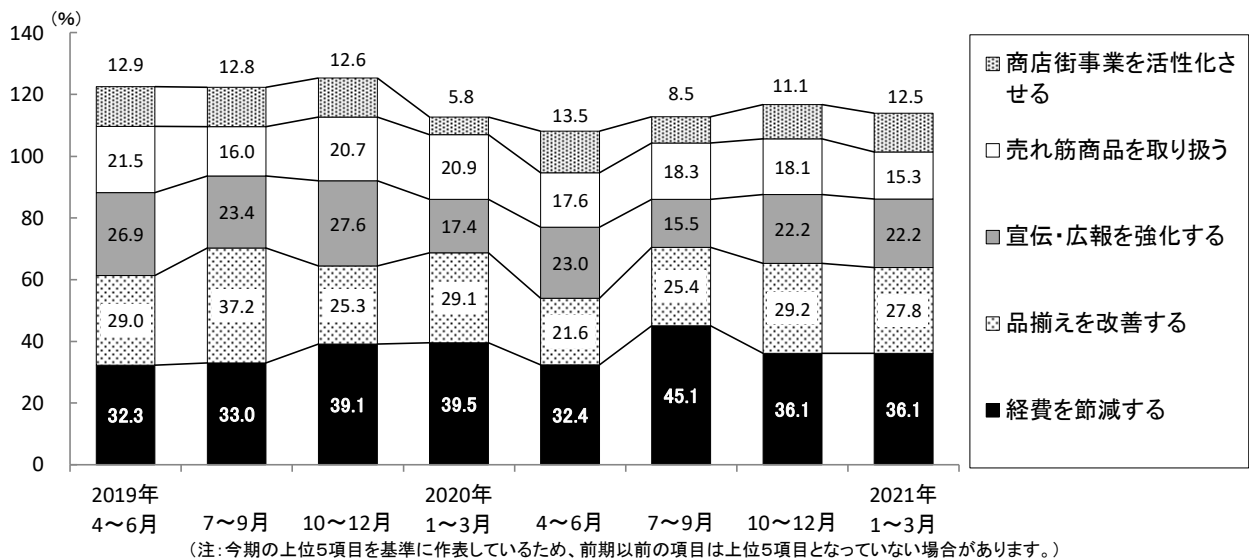
【小売業】 売上額・収益・販売価格・仕入価格の推移



【小売業】		経営上の問題点				(複数回答)	
2020年4～6月期		2020年7～9月期		2020年10～12月期		2021年1～3月期	
売上の停滞・減少	45.9%	売上の停滞・減少	59.2%	売上の停滞・減少	50.0%	売上の停滞・減少	45.8%
大型店との競争の激化	31.1%	大型店との競争の激化	28.2%	同業者間の競争の激化	27.8%	同業者間の競争の激化	26.4%
同業者間の競争の激化	17.6%	同業者間の競争の激化	22.5%	大型店との競争の激化	23.6%	大型店との競争の激化	25.0%
商店街の集客力の低下	12.2%	商店街の集客力の低下	14.1%	商店街の集客力の低下	15.3%	商店街の集客力の低下	16.7%
利幅の縮小	6.8%	利幅の縮小 取引先の減少	7.0%	利幅の縮小	11.1%	利幅の縮小	8.3%



【小売業】		重点経営施策				(複数回答)	
2020年4～6月期		2020年7～9月期		2020年10～12月期		2021年1～3月期	
経費を節減する	32.4%	経費を節減する	45.1%	経費を節減する	36.1%	経費を節減する	36.1%
宣伝・広報を強化する	23.0%	品揃えを改善する	25.4%	品揃えを改善する	29.2%	品揃えを改善する	27.8%
品揃えを改善する	21.6%	売れ筋商品を取り扱う	18.3%	宣伝・広報を強化する	22.2%	宣伝・広報を強化する	22.2%
売れ筋商品を取り扱う	17.6%	宣伝・広報を強化する	15.5%	売れ筋商品を取り扱う	18.1%	売れ筋商品を取り扱う	15.3%
商店街事業を活性化させる	13.5%	商店街事業を活性化させる	8.5%	商店街事業を活性化させる	11.1%	商店街事業を活性化させる	12.5%



## 小売業の中分類業種別動向

注：コメント中の（）内のD.I.値は（前々期→前期→今期）となっている。

### ① 家具・じゅう器、家電・家庭用機械

業況（△50.3→△35.9→△26.0）は悪化傾向ながらかなり持ち直した。売上額（△61.5→△61.7→△22.1）と収益（△61.7→△61.9→△22.5）もともに減少・減益傾向が非常に大きく改善した。

販売価格（△12.1→△23.2→0.5）は極端に改善し上昇に転じ、仕入価格（△12.1→△10.6→△11.3）は前期並の良好感が続いた。

資金繰り（△23.0→△28.1→△23.5）と借入難易度（△16.7→△20.0→△16.7）はともに厳しさがわずかに和らいだ。

来期の見通しは、業況（△36.0 予想）は再び悪化傾向が強まると予想しており、売上額（△44.1 予想）と収益（△43.1 予想）も減少・減益傾向が非常に強まると見ている。販売価格（△13.1 予想）は再び下降に転じて厳しさを強めるが、仕入価格（△12.3 予想）は今期同様の良好感が続く予想している。

### ② 飲食料品

業況（△53.6→△40.1→△50.2）は悪化傾向を大幅に強め、売上額（△53.4→△30.7→△54.0）と収益（△53.1→△31.6→△58.5）も再び減少・減益傾向が非常に強まった。

販売価格（△10.3→△19.5→△12.5）は下降傾向がかなり改善したが、仕入価格（△3.8→△12.8→△3.2）は下降が弱まり良好感が後退した。

資金繰り（△31.5→△15.5→△42.1）は厳しさが極端に増し、借入難易度（0.0→△11.1→△18.8）も窮屈感がかなり強まった。

来期の見通しは、業況（△53.3 予想）は悪化傾向がわずかに強まると予想している。売上額（△54.1 予想）は今期並の減少傾向で推移するが、収益（△50.4 予想）は減益傾向ながら多少改善すると見ている。販売価格（△16.1 予想）は下降傾向を若干強めて厳しさが増すが、仕入価格（△6.6 予想）は多少良好感が強まると予想している。

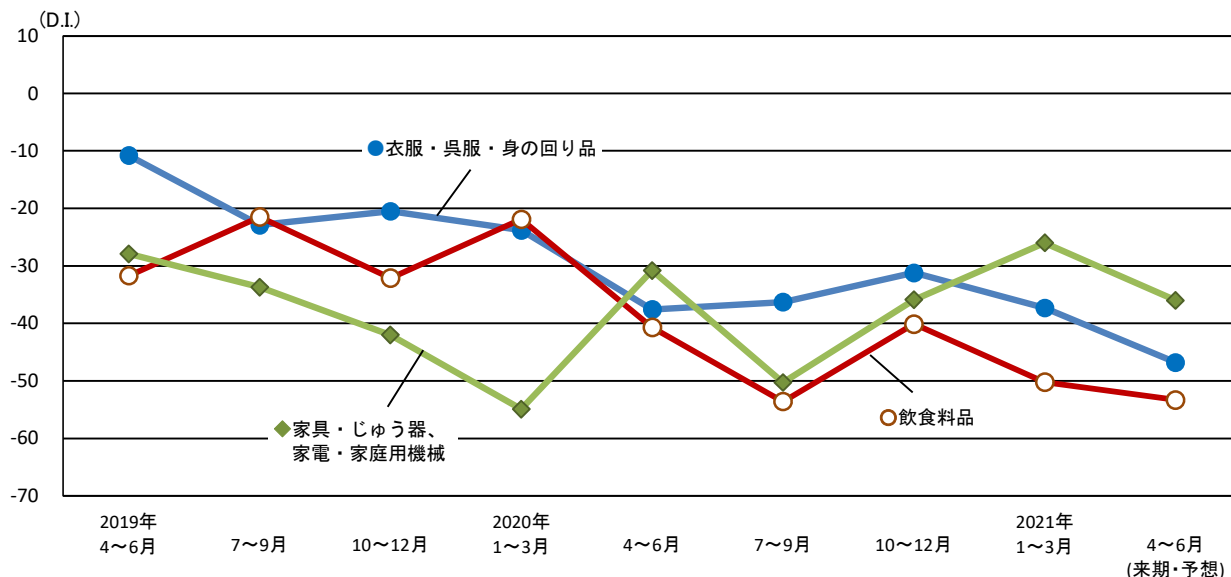
### ③ 衣服、呉服、身の回り品

業況（△36.3→△31.2→△37.3）は悪化傾向が再び強まり、売上額（△20.5→△24.3→△26.4）と収益（△29.4→△22.5→△26.2）も減少・減益傾向が幾分強まった。

販売価格（△9.6→△10.4→△7.7）は下降傾向がやや弱まったが、仕入価格（△6.3→△9.1→△10.0）は前期並の良好感が続いた。

資金繰り（△14.5→△10.8→△10.0）は前期並の窮屈感が続き、借入難易度（△22.2→△30.0→△44.4）は厳しさがかなり増した。

来期の見通しは、業況（△46.8 予想）は厳しさが大幅に増すと見ており、売上額（△33.6 予想）と収益（△33.3 予想）も減少・減益傾向が更に強まると予想している。販売価格（△16.4 予想）は下降傾向が強まり厳しさが増すが、仕入価格（△19.0 予想）も下降傾向が強まるため良好感が増すと予想している。



# サービス業

注：コメント中の（）内のD.I.値は（前々期→前期→今期）となっている。

## （１）業況、売上額、収益

業況（△46.8→△42.4→△55.1）は悪化傾向が再び大きく強まった。

売上額（△48.4→△50.0→△51.3）と収益（△46.1→△50.4→△50.7）は前期並の減少・減益傾向が続いた。

来期の見通しについて、業況（△42.0予想）は厳しい状況は続くものかなり持ち直すと見ており、売上額（△38.9予想）と収益（△42.6予想）も厳しい状況ながらかなり改善すると予想している。

## （２）料金、材料価格

料金（△6.4→△7.1→△11.1）は下降傾向を多少強め、材料価格（7.5→5.0→5.8）は前期並の上昇水準が続いた。

来期の見通しについて、料金（△8.2予想）は下降傾向が若干弱まるが、材料価格（11.5予想）は上昇傾向が強まり厳しさが増すと予想している。

## （３）資金繰り、借入金動向

資金繰り（△34.8→△24.6→△29.6）は厳しさが更に増し、借入難易度（0.0→△4.8→△8.7）も多少窮屈感が強まった。

設備投資を「実施した」企業（10.0%→9.4%→10.7%）は、前期から1.3ポイント増加した。

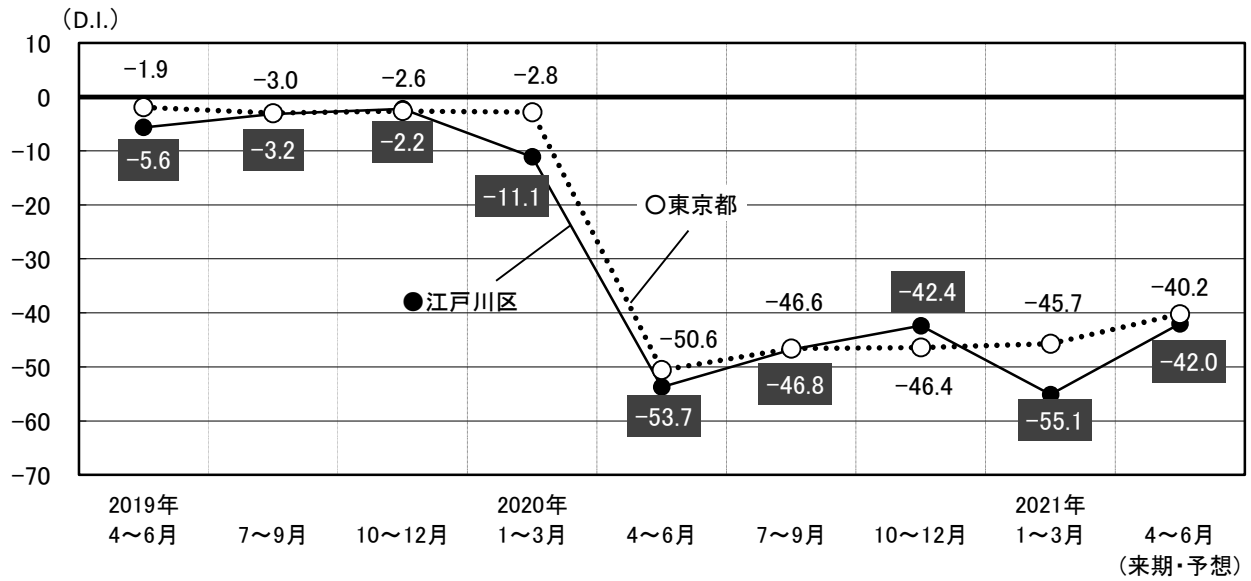
来期の見通しについて、資金繰り（△20.8予想）は厳しさがかなり和らぐと予想している。

## （４）経営上の問題点、重点経営施策

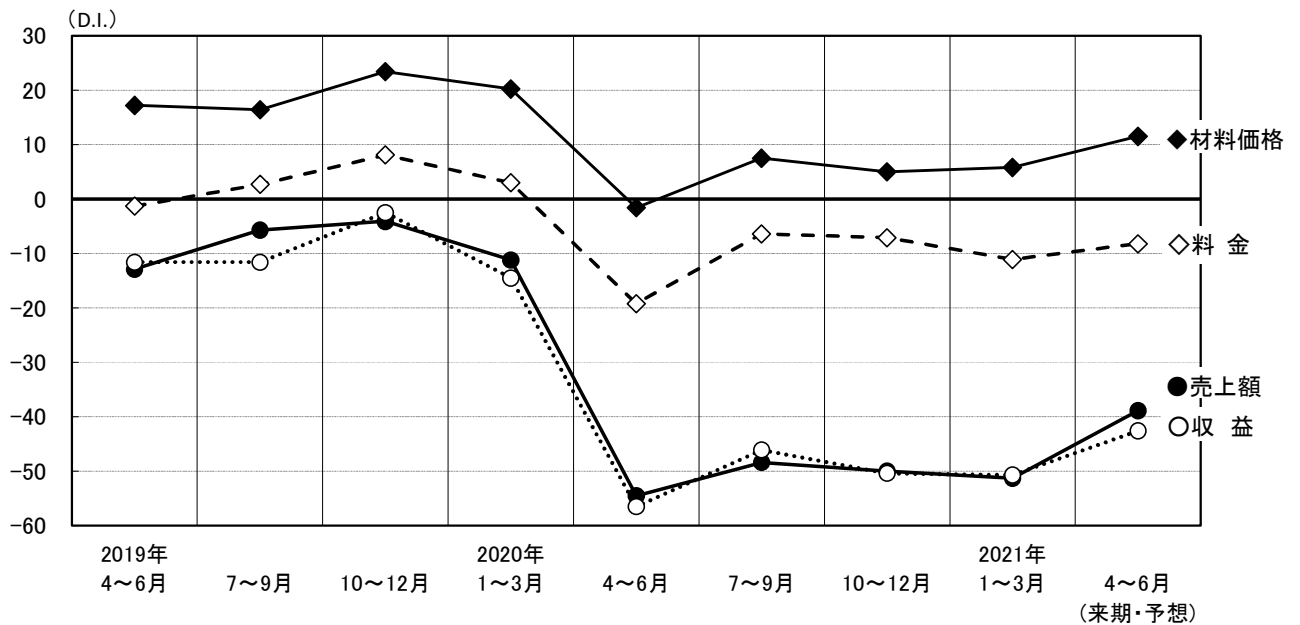
経営上の問題点は、「売上の停滞・減少」（49.1%）が今期も最多となった。以下、「同業者間の競争の激化」（29.8%）、「取引先の減少」（14.0%）、「大企業との競争の激化」、「人手不足」（各12.3%）の順であった。

重点経営施策では、「経費を節減する」（40.4%）が今期も最多となった。以下、「販路を広げる」（28.1%）、「宣伝・広告を強化する」（21.1%）、「人材を確保する」、（12.3%）、「技術力を強化する」（8.8%）の順であった。

【サービス業】 業況（江戸川区と東京都全体の比較）

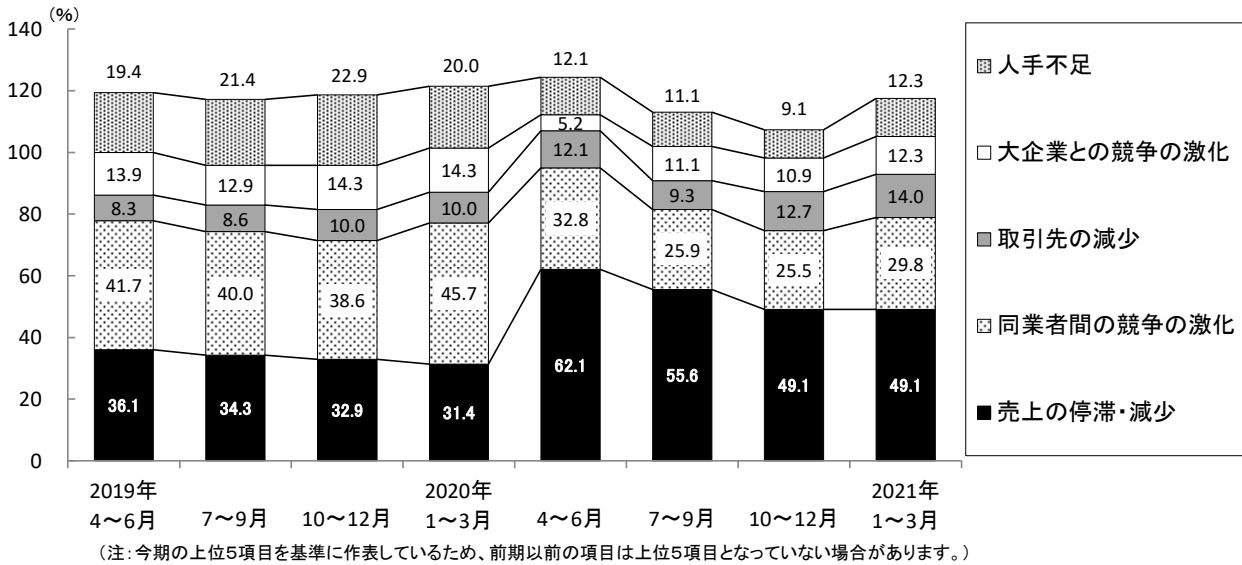


【サービス業】 売上額・収益・料金・材料価格の推移



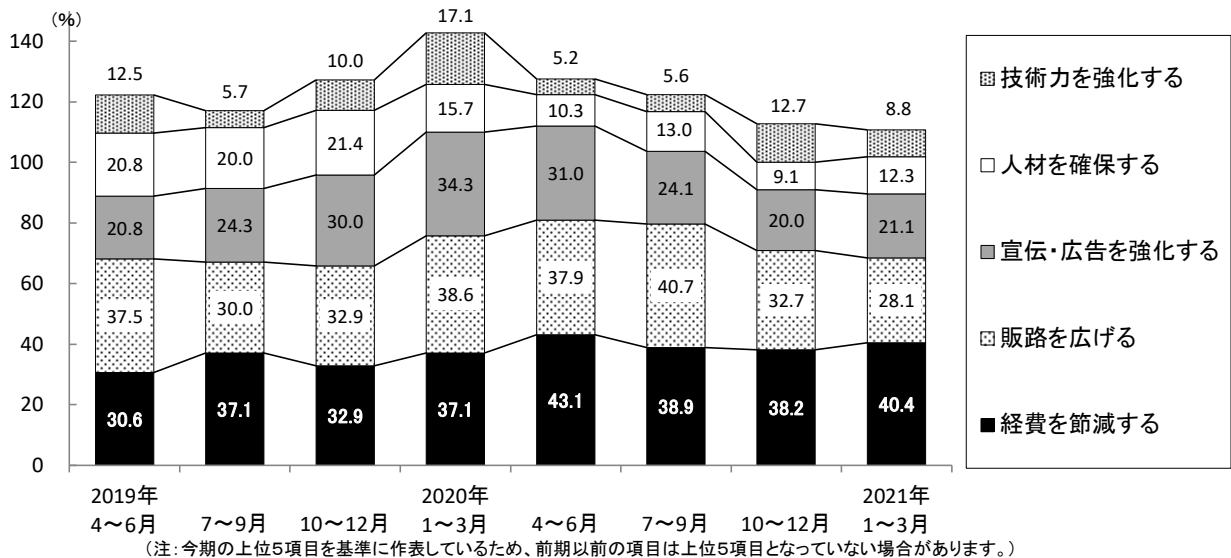
**【サービス業】 経営上の問題点** (複数回答)

2020年4～6月期		2020年7～9月期		2020年10～12月期		2021年1～3月期	
売上の停滞・減少	62.1%	売上の停滞・減少	55.6%	売上の停滞・減少	49.1%	売上の停滞・減少	49.1%
同業者間の競争の激化	32.8%	同業者間の競争の激化	25.9%	同業者間の競争の激化	25.5%	同業者間の競争の激化	29.8%
人手不足		利幅の縮小	14.8%	取引先の減少	12.7%	取引先の減少	14.0%
利幅の縮小	12.1%	人手不足		利幅の縮小 大企業との競争の激化 人件費の増加	11.1%	大企業との競争の激化	12.3%
取引先の減少		大企業との競争の激化			10.9%	人手不足	



**【サービス業】 重点経営施策** (複数回答)

2020年4～6月期		2020年7～9月期		2020年10～12月期		2021年1～3月期	
経費を節減する	43.1%	販路を広げる	40.7%	経費を節減する	38.2%	経費を節減する	40.4%
販路を広げる	37.9%	経費を節減する	38.9%	販路を広げる	32.7%	販路を広げる	28.1%
宣伝・広告を強化する	31.0%	宣伝・広告を強化する	24.1%	宣伝・広告を強化する	20.0%	宣伝・広告を強化する	21.1%
人材を確保する	10.3%	人材を確保する	13.0%	技術力を強化する	12.7%	人材を確保する	12.3%
提携先を見つける	6.9%	提携先を見つける/技術力を強化する/店舗・設備を改装する	5.6%	店舗・設備を改装する	10.9%	技術力を強化する	8.8%



# 建設業

注：コメント中の（）内のD.I.値は（前々期→前期→今期）となっている。

## （１）業況、売上額、受注残、施工高、収益

業況（△17.4→△24.5→△39.3）は悪化傾向が大きく強まった。

売上額（△21.7→△31.7→△38.7）と施工高（△17.6→△22.8→△31.6）は減少傾向がかなり強まり、受注残（△24.7→△31.9→△36.0）と収益（△30.0→△37.9→△40.2）も減少・減益傾向が多少強まった。

来期の見通しについて、業況（△24.2予想）はかなり持ち直すと見ており、売上額（△19.0予想）、受注残（△22.5予想）、施工高（△21.7予想）、収益（△27.4予想）も減少・減益傾向が大幅に改善すると予想している。

## （２）請負価格、材料価格、在庫数量

請負価格（△13.1→△23.3→△16.5）は下降傾向がかなり改善し、材料価格（18.3→17.4→12.6）は上昇傾向が若干弱まった。

在庫数量（△5.3→△8.0→△6.1）は前期並みの不足感で推移した。

来期の見通しについて、請負価格（△11.6予想）は下降傾向が多少改善し、材料価格（10.9予想）は今期並の上昇傾向が続くと見ている。在庫数量（△4.6予想）は今期並の不足感で推移すると予想している。

## （３）資金繰り、借入金動向

資金繰り（△10.5→△4.2→△12.1）は厳しさが大幅に増し、借入難易度（△4.6→△2.6→△8.1）も窮屈感が強まった。

設備投資を「実施した」企業（25.5%→29.2%→19.5%）は前期から9.7ポイント減少した。

来期の見通しについて、資金繰り（△11.1予想）は今期同様の厳しさが続くと予想している。

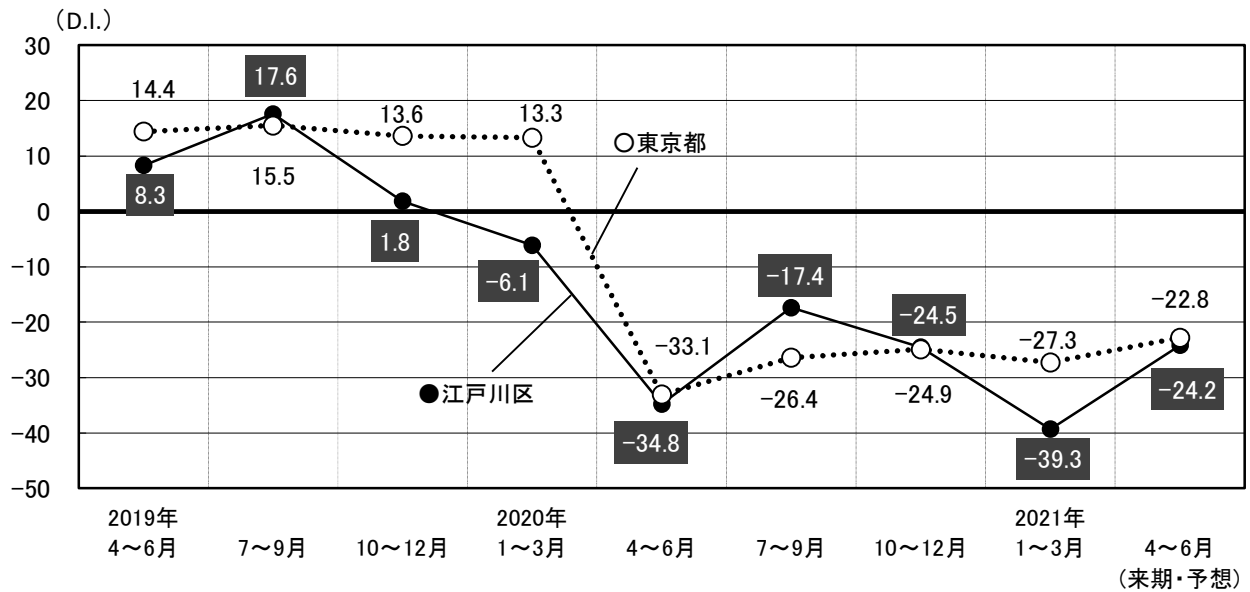
## （４）経営上の問題点、重点経営施策

経営上の問題点は、「売上の停滞・減少」（55.8%）が今期も最多となった。以下、「同業者間の競争の激化」（27.9%）、「人手不足」（18.6%）、「材料価格の上昇」（16.3%）、「利幅の縮小」（14.0%）の順であった。

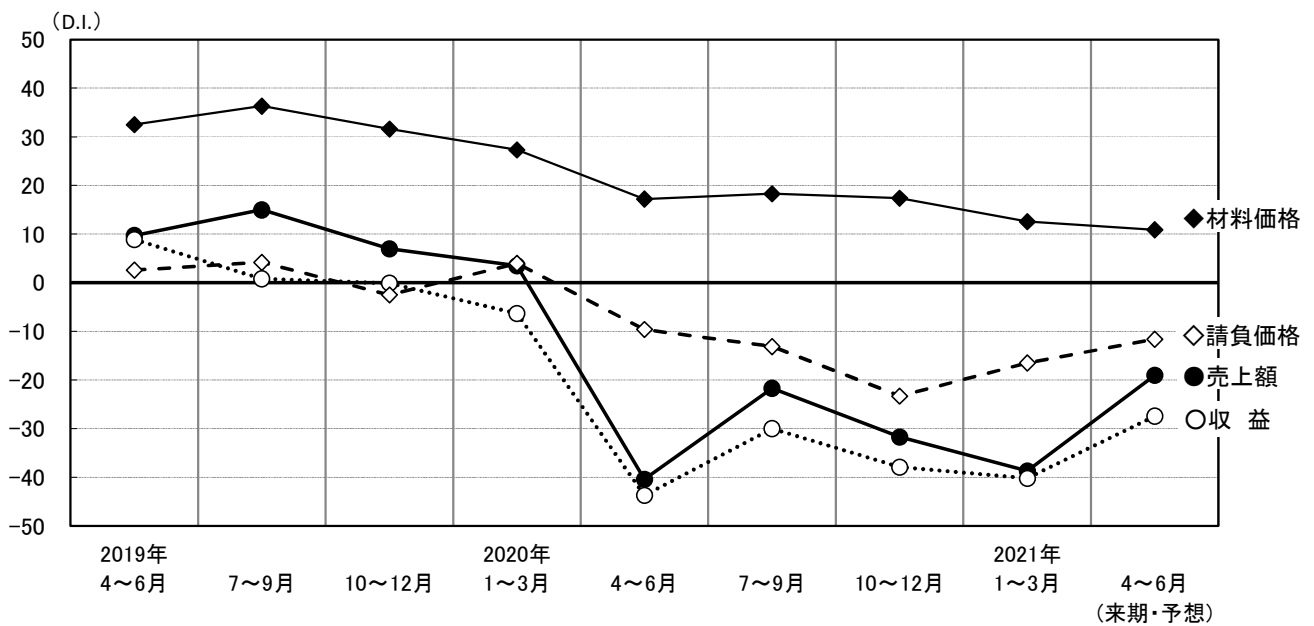
重点経営施策では、「販路を広げる」（39.5%）が今期も最多となった。以下、「経費を節減する」（32.6%）、「技術力を高める」、「情報力を強化する」（各27.9%）、「人材を確保する」（25.6%）の順であった。



【建設業】 業況（江戸川区と東京都全体の比較）



【建設業】 売上額、収益、請負価格、材料価格の推移

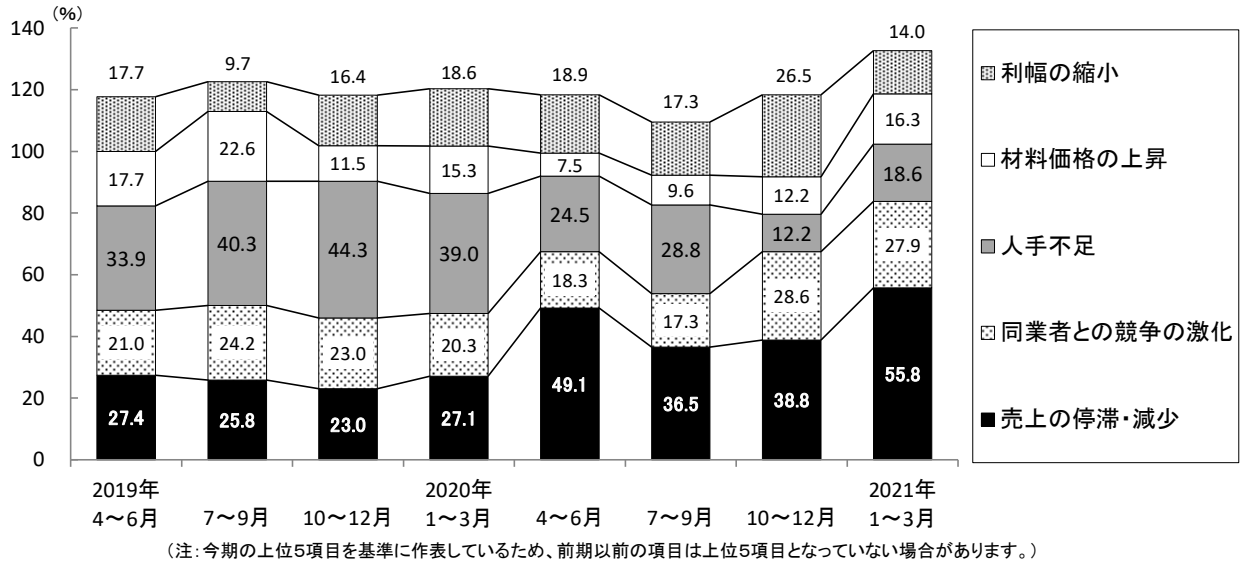


【建設業】

経営上の問題点

(複数回答)

2020年4～6月期		2020年7～9月期		2020年10～12月期		2021年1～3月期	
売上の停滞・減少	49.1%	売上の停滞・減少	36.5%	売上の停滞・減少	38.8%	売上の停滞・減少	55.8%
同業者間の競争の激化	28.3%	人手不足	28.8%	同業者間の競争の激化	28.6%	同業者間の競争の激化	27.9%
人手不足	24.5%	人件費の増加	19.2%	利幅の縮小	26.5%	人手不足	18.6%
利幅の縮小	18.9%	同業者との競争の激化	17.3%	人手不足 人件費の増加 下請の確保難 材料価格の上昇	12.2%	材料価格の上昇	16.3%
下請の確保難 人件費の増加	13.2%	利幅の縮小				利幅の縮小	14.0%

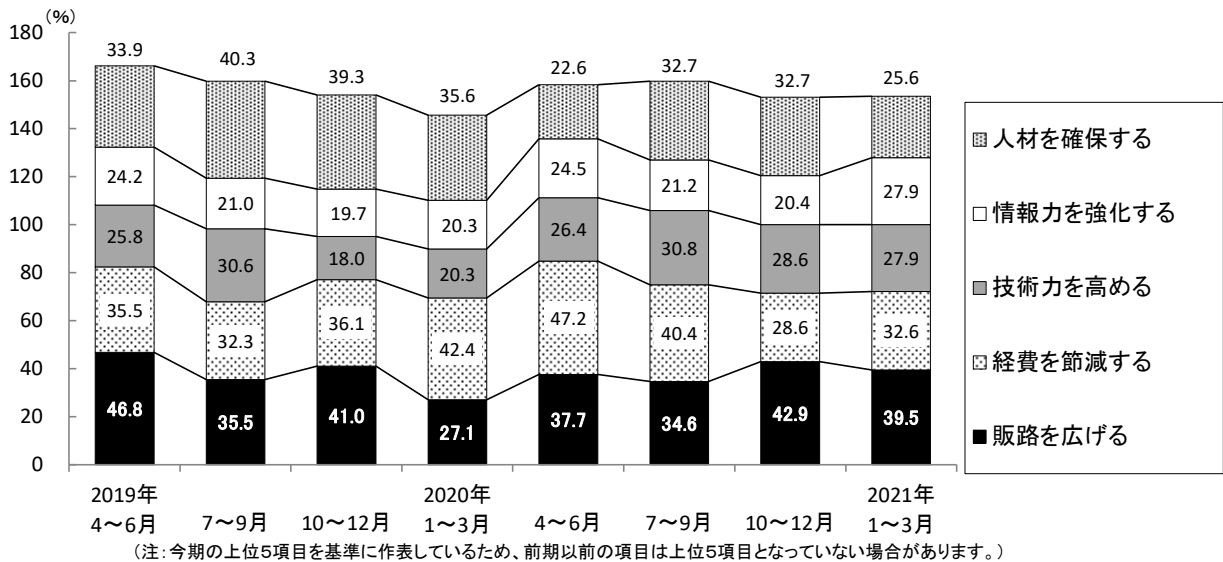


【建設業】

重点経営施策

(複数回答)

2020年4～6月期		2020年7～9月期		2020年10～12月期		2021年1～3月期	
経費を節減する	47.2%	経費を節減する	40.4%	販路を広げる	42.9%	販路を広げる	39.5%
販路を広げる	37.7%	販路を広げる	34.6%	人材を確保する	32.7%	経費を節減する	32.6%
技術力を高める	26.4%	人材を確保する	32.7%	経費を節減する	28.6%	技術力を高める	27.9%
情報力を強化する	24.5%	技術力を高める	30.8%	技術力を高める		情報力を強化する	
人材を確保する	22.6%	情報力を強化する	21.2%	情報力を強化する	20.4%	人材を確保する	25.6%



## 江戸川区独自の調査から

### [景況全般について]

- ・1～3月期売上は例年の50%程度まで戻ってきたがまだまだ不十分。個人消費の落ち込みが回復に転じなければ2019年9月水準には程遠いと思われる。電気工事業について、失業者は増えていると思われるが募集しても反応が全くない。経営安定の観点から保守点検の分野進出に取り組んでいる。(建設業)
- ・コロナで日々心配しながら毎日安全作業を願っているが、大型工事は月に20日間しか働けない。単価の上昇もない。会社の体力が続く限り社員・従業員を守っていくつもりではあるが資金は借りて返す状態。幸いにも単価次第で仕事はあるが、赤字経営が解消になることはない。毎日、コロナ・事故が無いように祈っている。(建設業)
- ・コロナ禍により、業績はあまりよくない。(建設業)
- ・春になり、陽気も良く消費動向も改善の兆しが見えてきた。長らくできなかったイベントも緊急事態宣言の解除とともにやっっていこうと思っている。(卸売業、小売業)

### [受注・売上・単価・仕事量等について]

- ・発注は回復傾向にあると感じている。(製造業)
- ・3月に入り受注が増えてきた。(製造業)
- ・仕事量の減少と共に単価が大幅に下落している。担当者レベルではなく部門責任者などにも働きかけをしているが部門責任者自体もどうすることも出来ず頭を抱えている。(建設業)
- ・他社競合が激しくなり、利益率が低下。また顧客の設備投資の減少により業績にも影響が出てきている。(卸売業、小売業)
- ・コロナの影響による受講生減で今までにない程の落ち込み。(サービス業)
- ・弊社は有料職業紹介業であり、主に都内百貨店、量販店の食品売り場の販売員を紹介している。昨年2月の緊急事態宣言以降売上は激減した。昨年夏以降年末にかけて復調の兆しがあったが、年明けの感染者増と二度目の緊急事態宣言でまた冷え込んだ。緊急事態宣言は解除されたがリバウンドが懸念される今、やはりワクチン接種が進み集団免疫が形成されるまでは元には戻らないかと思われる。この間廃業した同業者も多く、市場が回復した時には以前より受注が増えると予測している。今はじっと持ちこたえるしかない状況。(サービス業)
- ・緊急事態再発動で、例年実施していたイベント関係の仕事はすべて消失した。更に延長により2月末で従業員を1名解雇せざるを得なくなった。再拡大等が有れば、さらなる事業縮小や廃業も視野に入れなければならないと思っている。(サービス業)

### [経営上の課題]

- ・公共事業の調査・設計に係わる業種。コロナウイルスによる影響は現在のところ少なく、景気の下支えのためか、景況は全般的に良い。しかし、東京オリンピックや今回のコロナ禍による景況の悪化はしばらくしてから大きくなると予想しており、一般公共事業から災害を対象とした専門性の強化に努めていきたいと思っている。また、テレワークには順応しやすい業態なので、働き方の転換にも取り組んでいる。(サービス業)

### [経営改善等に向けての取組み]

- ・新商品の開発を検討。(製造業)
- ・不動産事業はもともと管理業が主体であるため毎月の管理料等は大きく変わらないが、時々あった仲介手数料が最近はない状況。製造事業(もともとは宣伝関係が主体)は主に宣伝関係の販促什器やイベント向けのツール製作がない。飛沫感染予防の衝立製作等はあるが従来の売り上げには追いつかない。この3月の年度末は多少本来の仕事が入り、周りの外注も忙しい状況になっているようであるが、この先の仕事が見えておらず不安。宣伝関係でない異業種からたまたま話が入り、金属加工のノウハウを活かして試作開発を進めている。少しでも従来の仕事が減った分の穴埋めが出来ればと頑張っている。(製造業)
- ・コロナ対策として、時短営業、接客用のパネルの設置、アルコール消毒、マスクおよびプラスチック手袋の着用、ソーシャルディスタンス等可能な限りの対策を業界および各社自主的に実施している。(サービス業)

## 江戸川区の企業倒産動向

(2021年1月～3月)

2021年1～3月期の江戸川区の倒産件数は、前期比30.0%増の13件（前期10件）、負債総額は前期比51.6%減の4億99百万円（前期10億31百万円）であった。業種別にみると、件数では“建設業”が4件で最も多く、“卸売業”が3件、“小売業”が2件と続いた。負債総額も“建設業”が2億10百万円で最も多く、次いで“宿泊業、飲食サービス業”が1億20百万円であった。

### 江戸川区の業種別倒産動向

(単位：件・百万円)

	前年同期 2020年1～3月		前期 2020年10～12月		今期 2021年1～3月	
	件数	負債総額	件数	負債総額	件数	負債総額
製造業	1	10	0	0	0	0
卸売業	7	1,715	1	10	3	70
小売業	2	36	4	818	2	49
サービス業	3	100	1	30	1	20
建設業	7	183	2	142	4	210
不動産業	1	14	0	0	1	20
情報通信業・運輸業	1	20	0	0	1	10
宿泊業、飲食サービス業	1	20	2	31	1	120
その他	1	100	0	0	0	0
合計	24	2,198	10	1,031	13	499

## 東京都の企業倒産動向

(2021年1月～3月)

2021年1～3月期の東京都の倒産件数は、前期比14.5%減の300件（前期351件）、負債総額は前期比131.7%増の1,008億円（前期435億円）であった。業種別にみると、件数では“サービス業”が68件で前期に続いて最も多く、次いで“卸売業”が53件であった。負債総額は“小売業”が493億円で最も多く、以下、“サービス業”が205億円、“情報通信業・運輸業”が90億円と続いた。

### 1. 概況

(単位：件・億円)

	前年同期 2020年 1～3月	前期 2020年 10～12月	今期 2021年 1～3月	前期比 (伸び率)	前年同期比 (伸び率)
	件数	390	351	300	-14.5%
負債総額	625	435	1,008	131.7%	61.3%

### 2. 原因別倒産動向

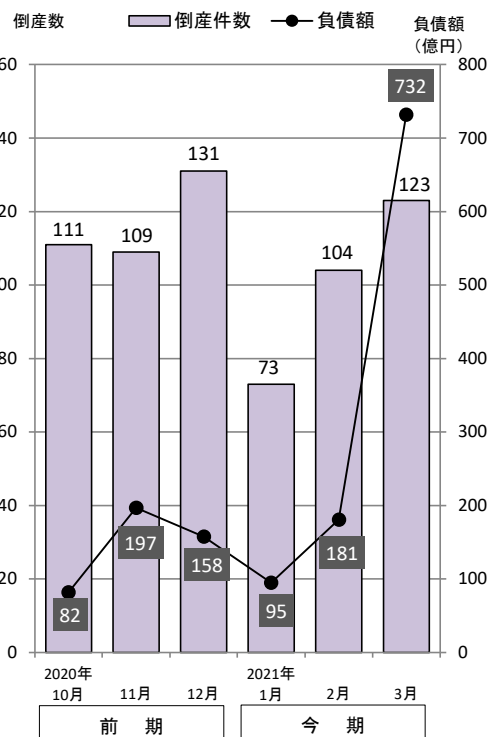
(単位：件)

	前年同期 2020年 1～3月	前期 2020年 10～12月	今期 2021年 1～3月	前期比 (伸び率)	前年同期比 (伸び率)
	販売不振	298	241	219	-9.1%
既往のしわ寄せ	32	21	26	23.8%	-18.8%
売掛金等回収難 (不況型計)	4	0	3	-	-25.0%
放漫経営	21	30	18	-40.0%	-14.3%
過小資本	13	7	7	0.0%	-46.2%
他社倒産の余波	19	42	18	-57.1%	-5.3%
信用性低下	1	2	3	50.0%	200.0%
在庫状態悪化	0	0	0	-	-
設備投資過大	0	2	1	-50.0%	-
その他	2	6	5	-16.7%	150.0%
合計	390	351	300	-14.5%	-23.1%

### 3. 業種別倒産動向

(単位：件・億円)

	前年同期 2020年1～3月		前期 2020年10～12月		今期 2021年1～3月	
	件数	負債総額	件数	負債総額	件数	負債総額
製造業	24	34	18	13	19	39
卸売業	78	125	53	58	53	46
小売業	45	68	37	109	35	493
サービス業	86	216	92	126	68	205
建設業	39	47	38	56	32	23
不動産業	15	35	18	29	19	32
情報通信業・運輸業	46	47	33	16	36	90
宿泊業、飲食サービス業	39	38	40	19	22	71
その他	18	15	22	11	16	9
合計	390	625	351	437	300	1,008



注1. 以下に示す割合は区内の中小企業(全6業種=366事業所)の回答を集計したものです。業種別の分析については企業数の少ない「卸売業」「不動産業」を除いた4業種についてのみ行っています。

注2. 割合は小数点以下第2位を四捨五入して表記しているため、単数回答の場合に合計が100%にならないこともあります。

本調査結果の特徴	①新型コロナ影響前(例年1~3月)売上との比較	『減少した(10%以上)』63.3%、『増加した(10%以上)』3.6% 「ほぼ変化なし(±10%未満)」33.1%
	②新常態移行に伴う事業継続上の不安、懸念事項	「既存事業の需要減少」36.1%、 「先行き不透明による計画策定困難化」34.4%
	③新常態に向けたIT人材の状況及びIT活用の効果	○IT人材の状況:『足りていない』18.5% →対応方法は、「外部業者に委託」9.8%、「内部育成」8.1% ○IT活用の効果:『活用の効果あり』26.3% →「効率化による経費節減」11.5%、「顧客利便性の向上」10.9%
	④新常態に向けた設備投資の意向及びスケジュールへの影響	○設備投資の意向:『意向あり』25.1% →「老朽化設備等の更新」11.3%、「合理化・省力化・IT化」6.5% ○スケジュールへの影響: →「当初予定通り実施」7.1%、「予定はあったが、中止・凍結した」7.1%
	⑤今後の事業展開の実施・検討	「本業国内の取引先深耕(生産・販売・調達等)」32.2% 「本業での新商品・サービスの展開」15.4%

※上記表中の割合合計は、少数点以下四捨五入の影響により単数回答質問の場合は100%にならないこともあります。

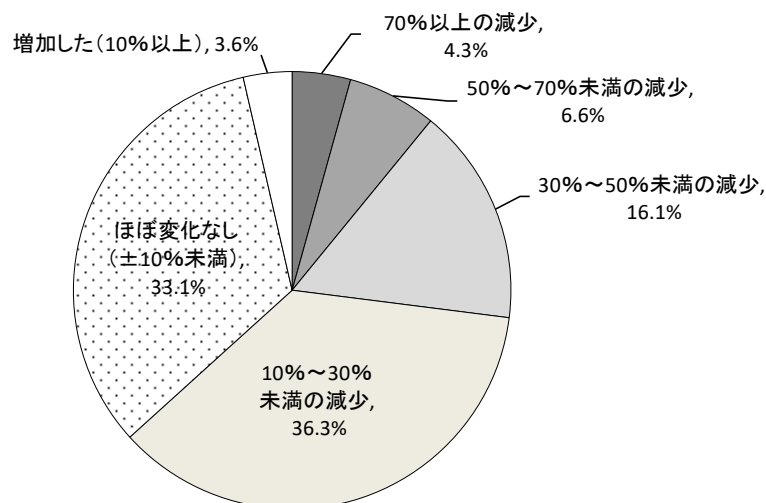
### 問1. 新型コロナ影響前(例年1~3月)の売上との比較について

区内の中小企業を対象に今期(1~3月)の売上について、新型コロナウイルスの影響がなかった例年の1~3月と比較してどの程度変化したのか伺ったところ、結果は『減少した(10%以上)』が63.3%で全体の6割台半ば近くを占めた。その内訳は「10%~30%未満の減少」(36.3%)、「30%~50%未満の減少」(16.1%)、「50%~70%未満の減少」(6.6%)、「70%以上の減少」(4.3%)であった。逆に、『増加した(10%以上)』が3.6%であり、「ほぼ変化なし(±10%未満)」が33.1%となった。

業種別に見ると、『減少した(10%以上)』とする業種は、“サービス業”が70.9%で最も高く、次いで“製造業”(65.5%)であった。また、「ほぼ変化なし(±10%未満)」は“建設業”が41.9%で最も高い割合であった。

従業者規模別では、特に顕著な傾向は見られなかった。

今期(1~3月)の売上変化幅(例年比)



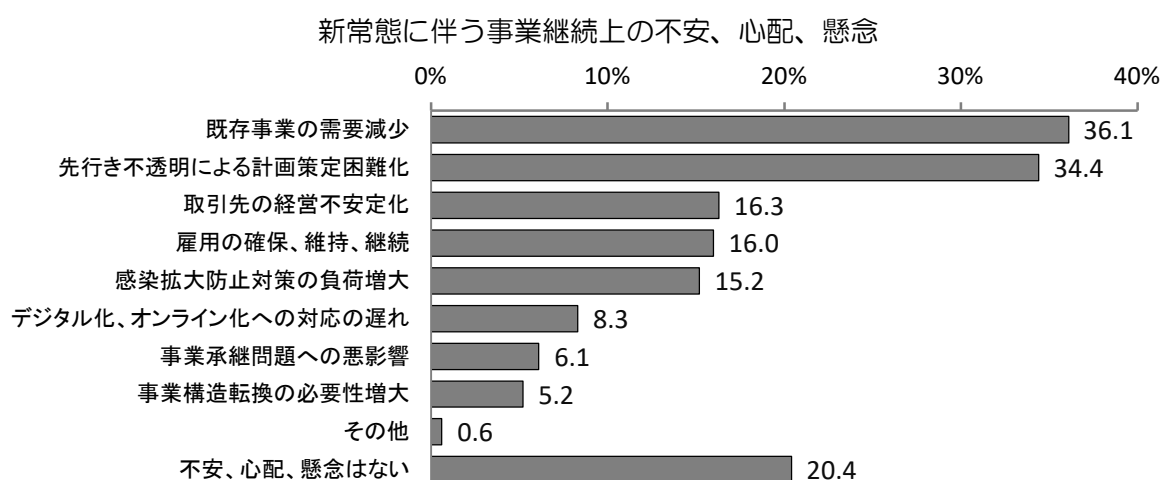
※回答により100%にならないこともあります。

### 問2. 新常態(ニューノーマル)移行にともなう事業継続上の不安、心配、懸念事項について

次に経済社会全体が新常態(ニューノーマル)へ移行していくなかで、事業継続上の不安、心配、懸念事項について伺った(最大3項目まで)。その結果、「既存事業の需要減少」が36.1%と最も多く、以下、「先行き不透明による計画策定困難化」(34.4%)、「取引先の経営不安定化」(16.3%)、「雇用の確保、維持、継続」(16.0%)、「感染拡大防止対策の負荷増大」(15.2%)などの順であった。一方、「不安、心配、懸念はない」との回答が20.4%あった。

業種別に見ると、「既存事業の需要減少」は“小売業”(37.1%)、「先行き不透明による計画策定困難化」は“サービス業”(38.2%)、「取引先の経営不安定化」は“製造業”(22.2%)、「雇用の確保、維持、継続」は“建設業”(32.6%)でそれぞれ最も高い割合であった。

従業者規模別では、特に顕著な傾向は見られなかった。



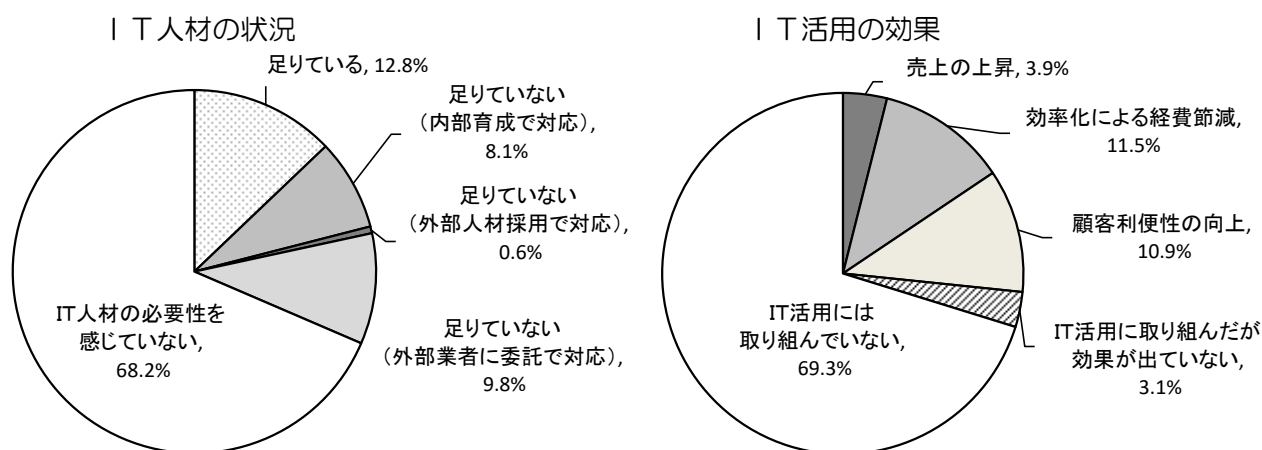
### 問3. 新常態(ニューノーマル)に向けたIT人材の状況及びIT活用の効果について

同様に新常態(ニューノーマル)に向けてIT人材の重要性が高まる状況下において、IT人材の充足状況及びIT活用がどのような効果をあげているかについて伺ったところ、まず、IT人材の充足状況では、「足りている」の12.8%に対して、『足りていない』が18.5%と多かった。足りていない場合の対処は、「外部業者に委託で対応」(9.8%)、「内務育成で対応」(8.1%)などであった。また、「IT人材の必要性を感じていない」は68.2%で最多となった。

次に、IT活用の効果では、IT活用の効果を『感じている』企業は26.3%であり、その内訳は、「効率化による経費節減」(11.5%)、「顧客利便性の向上」(10.9%)などであった。一方、「IT活用には取り組んでいない」は69.3%で最多となった。

業種別に見ると、IT人材が『足りていない』は、“サービス業”が22.6%で最も高く、IT活用の効果を『感じている』は“建設業”が35.7%で最も高かった。

従業者規模別では、IT人材が「足りている」は従業員規模が大きくなるほど割合が高くなる傾向が見られた。



#### 問4. 新常态(ニューノーマル)に向けた設備投資の意向及びコロナ禍におけるスケジュールへの影響について

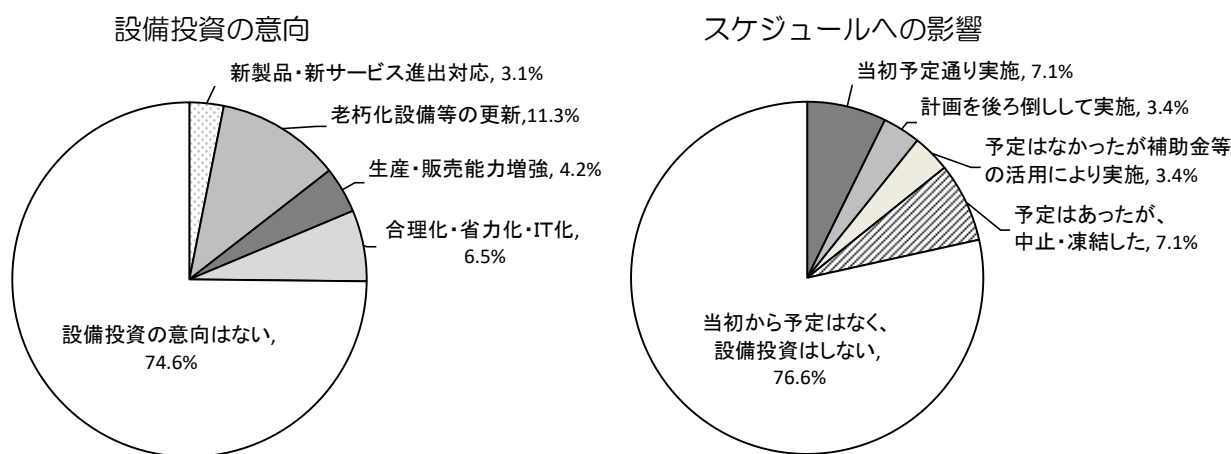
新常态(ニューノーマル)に向けて、どのような設備投資の意向があるのか、及び、コロナ禍が設備投資のスケジュールに与えた影響について伺った。

設備投資の意向については、「設備投資の意向はない」が74.6%に対し、『意向あり』は25.1%であった。設備投資の内容としては、「老朽化設備等の更新」(11.3%)が最も多く、以下、「合理化・省略化・IT化」(6.5%)、「生産・販売能力増強」(4.2%)、「新製品・新サービス進出対応」(3.1%)の順であった。

スケジュールへの影響については、「当初から予定はなく、設備投資はしない」は76.6%で最も多く、次いで、「当初予定通り実施」と「予定はあったが中止・凍結した」がともに7.1%であった。

業種別に見ると、設備投資の『意向あり』は、“建設業”が29.3%で最も高く、次いで“製造業”(25.4%)であった。逆に、「設備投資の意向はない」は“サービス業”(79.6%)が最も高い割合であった。

従業員規模別に見ると、設備投資の『意向あり』はおおむね従業員規模が大きくなるほど割合が高くなる傾向が見られた。



※回答により 100%にならないこともあります。

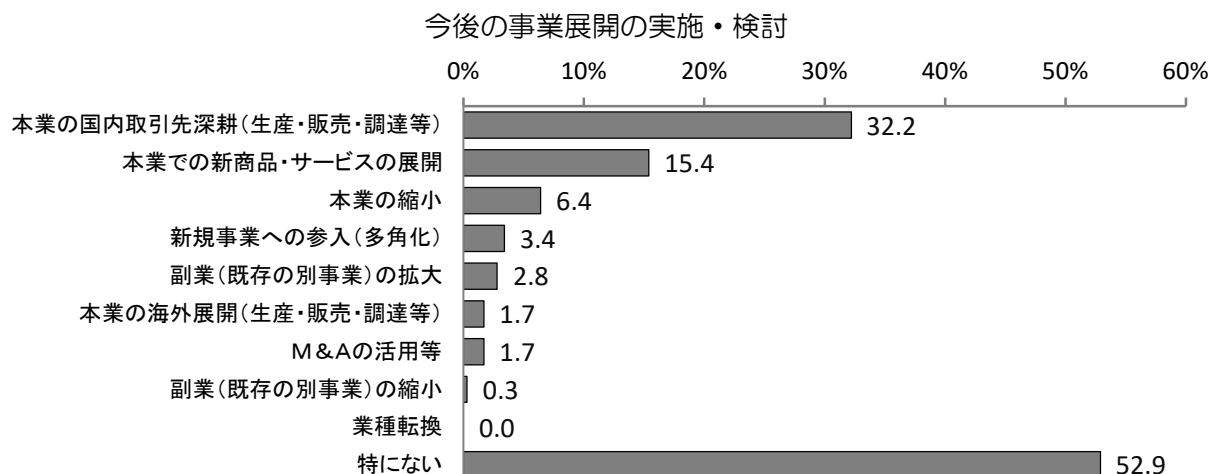
#### 問5. 今後の事業展開の実施・検討について

コロナ禍で業況が厳しい企業が多い中、今後どのような事業展開を実施・検討しているかについて最大3項目で伺ったが、「特にない」が52.9%と全体の過半数を占めた。

具体的な回答をいただいた事業展開としては、「本業の国内取引先深耕(生産・販売・調達等)」が32.2%で最も高く、以下、「本業での新商品・サービスの展開」(15.4%)、「本業の縮小」(6.4%)などと続いた。

業種別に見ると、「本業の国内取引先深耕(生産・販売・調達等)」は“製造業”が39.2%で最も高く、次いで、“建設業”(29.3%)であった。「本業での新商品・サービスの展開」は、“製造業”(16.2%)が最も高く、次いで、“サービス業”(12.7%)であった。一方、「特にない」は“建設業”が63.4%と最も高い割合であった。

従業員規模別では、特に特徴的な傾向は見られなかった。





業種	回答数	問1 今期(1~3月)の売上変化幅(例年比)								問2 新常态に伴う事業継続上の不安、心配、懸念												
		『減少』					(10%未満の増減)	『増加』		既存事業の需要減少	先行き不透明による計画策	取引先の経営不安定化	雇用の確保、維持、継続	大感染拡大防止対策の負荷増への対応の遅れ	デジタル化、オンライン化	事業承継問題への悪影響	事業構造転換の必要性増大	その他	不安、心配、懸念はない			
		90%以上の減少	減少70%以上90%未満	減少50%以上70%未満	減少30%以上50%未満	減少10%以上30%未満		増加10%以上30%未満	増加30%以上の増加													
全業種	366	0.5	3.8	6.6	16.1	36.3	33.1	3.3	0.3	363	36.1	34.4	16.3	16.0	15.2	8.3	6.1	5.2	0.6	20.4		
製造業	154	-	3.2	7.1	16.2	39.0	32.5	1.3	0.6	153	36.6	34.6	22.2	12.4	13.1	7.2	5.9	4.6	0.7	17.0		
従業者規模	1人~4人	79	-	2.5	10.1	15.2	39.2	29.1	2.5	1.3	78	33.3	32.1	24.4	7.7	16.7	6.4	7.7	6.4	-	20.5	
	5人~9人	40	-	2.5	5.0	20.0	22.5	50.0	-	-	40	35.0	32.5	17.5	17.5	10.0	12.5	2.5	-	-	22.5	
	10人~19人	18	-	-	5.6	11.1	77.8	5.6	-	-	18	33.3	50.0	27.8	16.7	5.6	5.6	11.1	-	-	-	
	20人~29人	8	-	-	-	25.0	50.0	25.0	-	-	8	37.5	25.0	-	12.5	12.5	-	-	-	12.5	12.5	
	30人~39人	2	-	-	-	-	50.0	50.0	-	-	2	100.0	50.0	50.0	50.0	-	-	-	-	-	-	
	40人~49人	1	-	100.0	-	-	-	-	-	-	1	-	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	50人~99人	5	-	20.0	-	20.0	20.0	40.0	-	-	5	80.0	40.0	20.0	20.0	20.0	-	20.0	-	-	-	-
	100人~199人	1	-	-	-	-	-	100.0	-	-	1	100.0	-	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-
	200人~300人	0	-	-	-	-	-	-	-	-	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	形態・立地	問屋・商社	13	-	-	7.7	7.7	46.2	38.5	-	-	13	30.8	38.5	30.8	15.4	15.4	-	15.4	7.7	-	15.4
大メーカー		17	-	-	5.9	11.8	23.5	58.8	-	-	17	52.9	35.3	17.6	11.8	17.6	11.8	5.9	5.9	5.9	17.6	
中小メーカー・中間業者		86	-	4.7	7.0	15.1	44.2	27.9	-	1.2	86	39.5	32.6	26.7	11.6	12.8	5.8	5.8	3.5	-	11.6	
小売業者 最終需要家		23 9	-	4.3 -	8.7 11.1	17.4 11.1	39.1 22.2	26.1 55.6	4.3 -	-	23 8	8.7 25.0	39.1 12.5	8.7 25.0	8.7 12.5	13.0 12.5	-	-	-	-	8.7 37.5	
業況	良い	6	-	-	-	-	50.0	33.3	-	16.7	6	33.3	16.7	16.7	-	16.7	16.7	-	-	-	33.3	
	普通	74	-	2.7	1.4	5.4	28.4	60.8	1.4	-	74	28.4	18.9	16.2	9.5	9.5	6.8	5.4	4.1	1.4	27.0	
	悪い	73	-	4.1	13.7	28.8	47.9	4.1	1.4	-	72	44.4	51.4	29.2	15.3	16.7	6.9	6.9	5.6	-	-	5.6
小売業	71	-	4.2	4.2	11.3	39.4	35.2	5.6	-	70	37.1	35.7	10.0	11.4	21.4	7.1	5.7	2.9	-	-	24.3	
従業者規模	1人~4人	57	-	1.8	5.3	14.0	33.3	38.6	7.0	-	57	35.1	33.3	10.5	7.0	22.8	8.8	5.3	3.5	-	26.3	
	5人~9人	8	-	-	-	-	75.0	25.0	-	-	7	57.1	28.6	-	28.6	14.3	-	14.3	-	-	14.3	
	10人~19人	3	-	33.3	-	-	33.3	33.3	-	-	3	33.3	66.7	33.3	66.7	33.3	-	-	-	-	-	
	20人~29人	2	-	50.0	-	-	50.0	-	-	-	2	50.0	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	
	30人~39人	0	-	-	-	-	-	-	-	-	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	40人~49人	0	-	-	-	-	-	-	-	-	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	50人~99人	1	-	-	-	-	100.0	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	100.0	
	100人~199人	0	-	-	-	-	-	-	-	-	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	200人~300人	0	-	-	-	-	-	-	-	-	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	形態・立地	駅周辺商店街	13	-	7.7	7.7	23.1	38.5	23.1	-	-	13	30.8	38.5	15.4	7.7	7.7	7.7	-	-	-	46.2
住宅地隣接商店街		41	-	2.4	4.9	9.8	41.5	34.1	7.3	-	41	41.5	34.1	9.8	12.2	22.0	7.3	7.3	4.9	-	22.0	
団地内商店街		2	-	-	-	-	50.0	50.0	-	-	2	50.0	50.0	-	-	50.0	-	-	-	-	-	
その他		11	-	-	-	9.1	36.4	45.5	9.1	-	11	27.3	36.4	-	18.2	18.2	9.1	9.1	-	-	18.2	
業況	良い	5	-	-	-	-	20.0	20.0	60.0	-	4	50.0	25.0	-	25.0	25.0	-	-	25.0	-	25.0	
	普通	35	-	-	-	8.6	40.0	51.4	-	-	34	29.4	26.5	2.9	11.8	23.5	5.9	5.9	-	-	32.4	
	悪い	31	-	9.7	9.7	16.1	41.9	19.4	3.2	-	32	43.8	46.9	18.8	9.4	18.8	9.4	6.3	3.1	-	15.6	
サービス業	55	3.6	5.5	7.3	21.8	32.7	27.3	1.8	-	55	30.9	38.2	10.9	20.0	18.2	3.6	1.8	5.5	-	-	27.3	
従業者規模	1人~4人	37	2.7	2.7	8.1	21.6	35.1	27.0	2.7	-	37	32.4	35.1	13.5	16.2	24.3	2.7	2.7	-	-	27.0	
	5人~9人	6	-	-	-	33.3	33.3	33.3	-	-	6	16.7	33.3	16.7	33.3	16.7	-	16.7	-	-	33.3	
	10人~19人	4	25.0	-	25.0	25.0	25.0	-	-	-	4	25.0	50.0	-	50.0	-	-	-	25.0	-	-	
	20人~29人	2	-	-	-	-	50.0	50.0	-	-	2	50.0	-	-	-	-	-	-	-	-	50.0	
	30人~39人	0	-	-	-	-	-	-	-	-	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	40人~49人	2	-	-	-	50.0	50.0	-	-	-	2	-	100.0	-	50.0	-	-	-	-	-	-	
	50人~99人	2	-	50.0	-	-	-	50.0	-	-	2	50.0	50.0	-	-	-	-	-	-	-	50.0	
	100人~199人	2	-	50.0	-	-	-	50.0	-	-	2	50.0	50.0	-	-	-	-	-	50.0	-	50.0	
	200人~300人	0	-	-	-	-	-	-	-	-	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	形態・立地	官公庁	3	-	-	-	33.3	33.3	-	33.3	-	3	-	66.7	33.3	-	-	33.3	66.7	-	-	-
大企業		7	-	-	14.3	42.9	14.3	28.6	-	-	7	71.4	28.6	-	42.9	28.6	-	14.3	14.3	-	28.6	
中小企業		22	-	4.5	-	13.6	31.8	45.5	4.5	-	22	27.3	27.3	18.2	40.9	9.1	9.1	-	-	4.5	13.6	
個人		7	-	14.3	14.3	14.3	14.3	42.9	-	-	7	42.9	42.9	14.3	-	28.6	-	-	14.3	-	28.6	
業況	良い	3	-	-	-	33.3	-	33.3	-	-	3	-	33.3	33.3	33.3	33.3	33.3	-	-	-	-	
	普通	20	-	-	5.0	5.0	20.0	65.0	5.0	-	20	35.0	10.0	10.0	35.0	20.0	-	-	5.0	5.0	25.0	
	悪い	20	-	10.0	5.0	35.0	30.0	20.0	-	-	20	35.0	55.0	15.0	30.0	10.0	10.0	10.0	5.0	-	15.0	





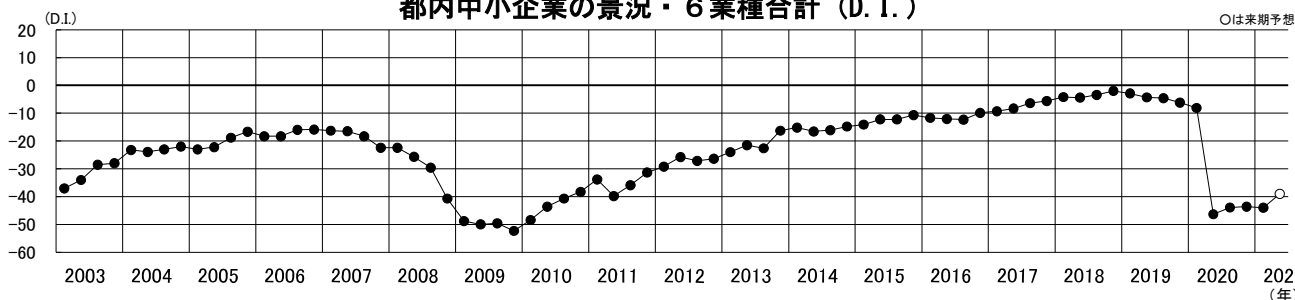
		問5 今後の事業展開の実施・検討について										
		回数	産本業の国内取引先深耕（生産・販売・調達等）	の本業での新商品・サービス	本業の縮小	化新規事業への参入（多角	大副業（既存の別事業）の拡	売本業の海外展開（生産・販	M & Aの活用等	小副業（既存の別事業）の縮	業種転換	特にな
全	業種	357	32.2	15.4	6.4	3.4	2.8	1.7	1.7	0.3	-	52.9
製	造業	148	39.2	16.2	6.8	4.1	0.7	3.4	2.0	-	-	48.0
	従業員規模											
	1人～4人	77	24.7	10.4	9.1	1.3	1.3	2.6	-	-	-	64.9
	5人～9人	39	51.3	17.9	7.7	7.7	-	5.1	-	-	-	30.8
	10人～19人	16	68.8	25.0	-	6.3	-	-	-	-	-	31.3
	20人～29人	7	14.3	28.6	-	14.3	-	-	-	-	-	57.1
	30人～39人	2	100.0	50.0	-	-	-	-	50.0	-	-	-
	40人～49人	1	-	-	-	-	-	100.0	-	-	-	-
	50人～99人	5	80.0	40.0	-	-	-	-	40.0	-	-	-
	100人～199人	1	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	200人～300人	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	形態・立地											
	問屋・商社	13	46.2	23.1	7.7	-	-	15.4	-	-	-	38.5
	大メーカー	16	56.3	31.3	6.3	12.5	-	-	18.8	-	-	25.0
	中小メーカー・仲間業者	82	39.0	9.8	3.7	3.7	-	2.4	-	-	-	51.2
	小売業者	23	30.4	17.4	8.7	4.3	-	4.3	-	-	-	56.5
	最終需要家	8	25.0	37.5	25.0	-	-	-	-	-	-	50.0
	業況											
	良い	5	40.0	40.0	-	20.0	-	20.0	-	-	-	40.0
	普通	71	28.2	9.9	4.2	2.8	-	2.8	4.2	-	-	57.7
	悪い	71	50.7	19.7	9.9	4.2	1.4	2.8	-	-	-	39.4
小	売業	70	28.6	10.0	5.7	2.9	4.3	-	-	-	-	55.7
	従業員規模											
	1人～4人	56	21.4	12.5	7.1	1.8	1.8	-	-	-	-	60.7
	5人～9人	8	75.0	-	-	-	12.5	-	-	-	-	25.0
	10人～19人	3	-	-	-	33.3	-	-	-	-	-	66.7
	20人～29人	2	100.0	-	-	-	50.0	-	-	-	-	-
	30人～39人	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	40人～49人	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	50人～99人	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	100.0
	100人～199人	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	200人～300人	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	形態・立地											
	駅周辺商店街	13	46.2	15.4	-	-	-	-	-	-	-	38.5
	住宅地隣接商店街	41	17.1	9.8	7.3	2.4	4.9	-	-	-	-	68.3
	団地内商店街	2	50.0	-	-	50.0	-	-	-	-	-	-
	その他	11	36.4	9.1	-	-	9.1	-	-	-	-	54.5
	業況											
	良い	4	25.0	50.0	-	-	-	-	-	-	-	25.0
	普通	35	22.9	5.7	11.4	2.9	2.9	-	-	-	-	60.0
	悪い	31	35.5	9.7	-	3.2	6.5	-	-	-	-	54.8
サ	ービス業	55	18.2	12.7	9.1	3.6	3.6	1.8	-	-	-	61.8
	従業員規模											
	1人～4人	37	13.5	10.8	10.8	2.7	2.7	-	-	-	-	64.9
	5人～9人	6	-	16.7	16.7	-	-	-	-	-	-	66.7
	10人～19人	4	50.0	-	-	25.0	25.0	-	-	-	-	50.0
	20人～29人	2	50.0	-	-	-	-	-	-	-	-	50.0
	30人～39人	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	40人～49人	2	50.0	-	-	-	-	-	-	-	-	50.0
	50人～99人	2	50.0	50.0	-	-	-	50.0	-	-	-	50.0
	100人～199人	2	-	50.0	-	-	-	-	-	-	-	50.0
	200人～300人	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	業況											
	良い	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	普通	23	8.7	13.0	8.7	-	4.3	4.3	-	-	-	69.6
	悪い	32	25.0	12.5	9.4	6.3	3.1	-	-	-	-	56.3
建	設業	41	29.3	12.2	7.3	-	2.4	-	4.9	-	-	63.4
	従業員規模											
	1人～4人	15	13.3	-	13.3	-	-	-	-	-	-	73.3
	5人～9人	12	25.0	8.3	8.3	-	-	-	-	-	-	66.7
	10人～19人	7	42.9	14.3	-	-	14.3	-	28.6	-	-	57.1
	20人～29人	3	66.7	66.7	-	-	-	-	-	-	-	33.3
	30人～39人	2	50.0	50.0	-	-	-	-	-	-	-	50.0
	40人～49人	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	100.0
	50人～99人	1	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	100人～199人	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	200人～300人	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	形態・立地											
	官公庁	3	33.3	-	-	-	33.3	-	33.3	-	-	66.7
	大企業	7	57.1	42.9	-	-	-	-	14.3	-	-	42.9
	中小企業	21	19.0	4.8	4.8	-	-	-	-	-	-	76.2
	個人	6	33.3	16.7	33.3	-	-	-	-	-	-	33.3
	業況											
	良い	3	33.3	-	-	-	-	-	-	-	-	66.7
	普通	20	30.0	10.0	-	-	-	-	-	-	-	70.0
	悪い	18	27.8	16.7	16.7	-	5.6	-	11.1	-	-	55.6

# 東京都全体の中小企業の景況

(2021年1月～3月期)

## コロナ第3波の影響も業況悪化踏みとどまる

都内中小企業の景況・6業種合計 (D.I.)



業況判断DI (季節調整済、「良い」企業割合－「悪い」企業割合) は2度目の緊急事態発令による活動自粛要請を受けるも、△44.0 (前期は△43.6) と前期に比べ0.4ポイント減少に止まった。前回の緊急事態時(4-6月期)よりも影響範囲は狭く、前期並で踏みとどまったが、依然低迷状態が続いている。業種別では、卸売業で改善が見られたものの、小売業・建設業は再び悪化し、製造業・サービス業・不動産業においては変化なく推移した。

来期は、緊急事態宣言が解除され、感染拡大防止に配慮しつつも、経済活動が進められる期待感から、不動産業を除く全ての業種でゆるやかな改善が見られると予想している。

	前期	今期	増減	来期予想	今期との増減
製造業	-49.9	-50.2	-0.3	-42.7	7.5
卸売業	-50.1	-46.9	3.2	-43.3	3.6
小売業	-48.2	-50.2	-2.0	-46.9	3.3
サービス業	-46.4	-45.7	0.7	-40.2	5.5
建設業	-24.9	-27.3	-2.4	-22.8	4.5
不動産業	-24.3	-23.4	0.9	-23.5	-0.1
総合	-43.6	-44.0	-0.4	-39.0	5.0

※前期 (2020年10～12月) 来期 (2021年4～6月)

### <製造業>

業況は下げ幅が小さくなっているものの、期待に反し9期連続の悪化となった。売上額・受注残・収益については、悪化度を強めることなく踏みとどまっており、前期並の水準で推移した。価格面では、販売価格の低下・原材料価格の上昇はともに変動なく推移した。

経営上の問題点の上位項目は前期同様に「売上の停滞・減少」(57%)、「同業者間の競争の激化」(23%)、「利幅の縮小」(14%)の順となっている。重点経営施策についても「販路を広げる」(61%)、「経費を節減する」(46%)、「情報力を強化する」(15%)と前期同様の順となった。

来期の業況は、経済活動の加速と景気回復への期待感から売上額・受注残・収益についても改善すると見ており、水面下ながら明るさが見えると予想している。

### <小売業>

緊急事態宣言の再発令により営業時間短縮要請を受けた飲食店や建築材料、燃料等の落ち込みの影響を受け、業況は再び悪化した。価格面では、販売価格・仕入価格の動きはほぼ横這いで着落きを見せているものの、資金繰りは引き続き厳しい状況が続いている。

経営上の問題点は前期同様に「売上の停滞・減少」(54%)、「同業者間の競争の激化」(23%)、「大型店との競争の激化」(22%)となっている。重点経営施策も「経費を節減する」(43%)、「品揃えを改善する」(29%)、「宣伝・広告を強化する」(23%)と上位に変化なく続いている。

来期は、売上額・収益ともに宣言解除後は改善が見られると予想しており、業況は緩やかに上向くと予想している。

### <サービス業>

業況は緊急事態宣言にともなう催事(イベント等)の開催制限を受けた娯楽、宿泊・観光、洗濯・理容・美容など厳しい状況が続いているものの、更なる落ち込みはなく前期同様の水準に踏みとどまった。売上額・収益についても変化なく、前期並の低調感で推移した。価格面では料金価格がわずかに上昇し、材料価格は変化なく着落きを見せた。資金繰りの窮屈感は和らいだ。

経営上の問題点は前期同様に「売上の停滞・減少」(54%)、「同業者間の競争の激化」(30%)、「人手不足」(17%)が上位を占めた。重点経営施策も前期同様に「経費を節減する」(44%)、「販路を広げる」(41%)「宣伝・広告を強化する」(18%)と続いている。

来期の業況は、段階的緩和措置を受けつつも、景気回復への期待感も含め悪化状態が緩和すると見ている。売上額はわずかに持ち直し、収益で改善が見られると予想している。

### <建設業>

業況はゆるやかな改善が続くと予想されていたものの今期はわずかに悪化し、改善の動きは足踏み状態となった。売上額・受注残・施工高・収益についても変動なく前期同様の水準で推移した。価格面では請負価格の下降幅は前期並に推移したものの、材料価格は上昇傾向で推移した。

経営上の問題点の上位項目は前期同様に「売上の停滞・減少」(42%)、2位に「同業者間の競争の激化」(31%)、「人手不足」(29%)の順となった。重点経営施策は1位に「販路を広げる」(47%)が上昇し、「経費を節減する」(42%)と逆転、「人材を確保する」(32%)が続いている。

来期は、売上額・受注残・施工高・収益については減少・減益幅が縮小すると見ており、再びゆるやかに改善すると予想している。

(一般社団法人 東京都信用金庫協会調べ)

# 江戸川区と東京都全体の比較表

(2021年1月～3月期)

## 製造業

### 【今期実績の比較】

	全 体		食 料 品		一般、金型、電気、輸送、精密機械器具		金属製品、建設用金属製品		パルプ・紙・紙加工品、出版業、印刷業、製版業、製本業		パルプ・紙、印刷、製本業		木材・木製品、家具・装備品		繊維工業、衣服・その他繊維製品		プラスチック製品		
	江戸川区	全都	江戸川区	全都	江戸川区	全都	江戸川区	全都	江戸川区	全都	江戸川区	全都	江戸川区	全都	江戸川区	全都	江戸川区	全都	
業況	-43	-50	-60	-56	-36	-39	-35	-49	-52	-63	-52	-65	-60	-66	-20	-58	-32	-46	
売上額	-46	-52	-58	-57	-37	-43	-54	-53	-50	-62	-50	-64	-52	-59	-23	-57	-41	-46	
受注残	-42	-46	-57	-52	-38	-38	-45	-47	-29	-55	-29	-56	-53	-57	-23	-52	-48	-41	
収益	-44	-48	-49	-58	-43	-40	-44	-50	-50	-56	-50	-58	-53	-55	-18	-55	-40	-42	
販売価格	-8	-11	-1	-7	-2	-8	-14	-11	-12	-15	-12	-16	0	-15	-14	-17	3	-6	
原材料価格	13	3	2	5	13	4	36	6	1	-1	1	-3	1	-5	-8	-1	25	7	
原材料在庫	-3	-3	1	-3	7	-1	4	-4	-1	-2	-1	-4	5	-2	-11	-1	-2	-1	
資金繰り	-13	-24	2	-24	-10	-19	-20	-23	0	-28	0	-29	-1	-25	-14	-35	-13	-19	
雇用	残業時間	-21	-23	-30	-26	-12	-21	-37	-24	-25	-29	-25	-29	-8	-25	-13	-17	-23	-20
	人手	-1	-3	10	-3	8	-5	-4	-4	10	-2	10	-1	8	0	-13	-1	-8	-7
同期比	売上額	-50	-55	-60	-59	-28	-44	-56	-57	-75	-66	-75	-67	-60	-50	-61	-46	-54	
	収益	-48	-53	-60	-60	-36	-43	-48	-54	-65	-61	-65	-63	-67	-58	-50	-58	-39	-55
経営上の問題点	① 売上の停滞・減少	49	57	46	58	56	55	44	53	55	66	55	64	67	64	38	57	39	52
	② 同業者間の競争の激化	19	23	27	25	20	21	19	20	30	30	30	31	8	31	13	22	8	21
	③ 利幅の縮小	14	14	9	14	16	13	7	14	20	16	20	16	8	20	-	12	15	13
	④ 原材料高	12	8	-	10	16	9	22	10	5	5	5	4	-	6	25	8	8	7
	⑤ 人手不足	9	10	9	14	12	11	7	10	-	5	-	5	17	10	13	13	8	13
重点経営施策	① 販路を広げる	53	61	55	69	52	59	48	56	80	66	80	66	50	61	50	62	39	62
	② 経費を節減する	47	46	36	50	48	41	22	44	50	51	50	51	67	56	63	47	31	40
	③ 情報力を強化する	14	15	9	9	8	15	26	14	25	16	25	14	8	13	13	18	-	11
	④ 新製品・技術を開発する	8	12	18	29	16	15	4	7	5	11	5	9	-	6	-	10	-	11
	⑤ 人材を確保する	6	10	9	10	8	13	7	9	-	5	-	5	8	15	-	9	15	6
借入の難易度	2	2	-14	-7	-9	7	16	5	0	-3	0	-4	0	2	-13	-12	0	4	

### 【来期見通しの比較】

業況	-46	-43	-60	-46	-42	-30	-44	-43	-59	-56	-59	-57	-48	-59	-42	-56	-46	-40	
売上額	-40	-41	-61	-44	-33	-32	-48	-43	-48	-49	-48	-51	-34	-46	-46	-60	-36	-37	
受注残	-38	-36	-61	-39	-28	-29	-44	-39	-33	-43	-33	-45	-32	-42	-46	-53	-45	-35	
収益	-36	-38	-59	-45	-27	-29	-41	-42	-48	-45	-48	-48	-34	-37	-35	-56	-35	-40	
販売価格	-7	-10	-5	-5	-6	-7	-4	-12	-1	-11	-1	-12	-1	-11	-13	-21	-5	-9	
原材料価格	11	2	-1	4	3	3	38	6	-2	0	-2	-2	0	-2	-9	-3	19	3	
原材料在庫	-3	-3	0	-2	4	-2	5	-4	1	-1	1	-2	8	-2	-12	0	-3	-1	
資金繰り	-14	-23	1	-24	-10	-16	-18	-21	-6	-26	-6	-26	2	-23	-21	-34	-23	-24	
雇用	残業時間	-18	-20	-30	-22	-8	-18	-20	-20	-20	-24	-20	-25	0	-17	-13	-14	-39	-22
	人手	-4	-4	10	-6	0	-5	-4	-4	-5	-2	-5	-2	8	0	-13	-3	-8	-7

\* 季節変動調整済D-Iを表示している項目。業況、売上額、受注残、収益、販売価格、原材料価格、原材料在庫、資金繰り

\* 単純D-Iを表示している項目。雇用面、同期比、借入の難易度

\* 企業割合(%)を表示している項目。経営上の問題点、重点経営施策

# 小売業

## 【今期実績の比較】

		全 体		家具・じゅう器、 家電・家庭用機械		飲食料品		衣服、呉服、 身の回り品	
		江戸川区	全都	江戸川区	全都	江戸川区	全都	江戸川区	全都
業況		-37	-50	-26	-46	-50	-43	-37	-59
売上額		-44	-50	-22	-49	-54	-42	-26	-62
収益		-43	-49	-23	-45	-59	-42	-26	-61
販売価格		-6	-8	1	-6	-13	-6	-8	-18
仕入価格		0	0	-11	-5	-3	2	-10	-6
在庫		-2	1	11	0	-10	-1	0	8
資金繰り		-20	-28	-24	-25	-42	-26	-10	-39
雇用	残業時間	-14	-16	0	-14	-26	-12	-18	-12
	人手	-3	-4	-13	-8	4	-7	0	-3
同期比	売上額	-40	-53	-13	-43	-52	-44	-27	-67
	収益	-43	-53	-25	-43	-57	-45	-27	-67
	販売価格	-11	-8	0	-6	-22	-5	-9	-17
経営上の問題点	① 売上の停滞・減少	46	54	25	45	61	51	36	61
	② 同業者間の競争の激化	26	23	13	23	13	21	55	21
	③ 大型店との競争の激化	25	22	38	35	22	26	55	22
	④ 商店街の集客力の低下	17	16	25	9	26	17	18	21
	⑤ 利幅の縮小	8	10	13	9	4	9	-	10
重点経営施策	① 経費を節減する	36	43	75	41	39	43	9	31
	② 品揃えを改善する	28	29	25	25	22	32	36	37
	③ 宣伝・広告を強化する	22	23	13	23	13	21	46	28
	④ 売れ筋商品を取り扱う	15	16	13	16	13	17	27	21
	⑤ 商店街事業を活性化させる	13	13	38	12	17	13	-	17
借入の難易度		-13	-4	-17	-1	-19	-5	-44	-8

## 【来期見通しの比較】

業況		-42	-47	-36	-43	-53	-42	-47	-55
売上額		-46	-42	-44	-37	-54	-38	-34	-48
収益		-45	-41	-43	-37	-50	-37	-33	-49
販売価格		-11	-7	-13	-8	-16	-6	-16	-14
仕入価格		-5	-1	-12	-5	-7	1	-19	-7
在庫		-2	0	10	-2	-12	-2	-9	2
資金繰り		-18	-26	-21	-22	-36	-23	-17	-38
雇用	残業時間	-10	-13	0	-12	-22	-10	-20	-9
	人手	-1	-5	-13	-11	4	-7	0	-2

\* 季節変動調整済D・Eを表示している項目。業況、売上額、収益、販売価格、仕入価格、在庫、資金繰り

\* 単純D・Eを表示している項目。雇用面、同期比、借入の難易度

\* 企業割合(%)を表示している項目。経営上の問題点、重点経営施策

## サービス業

### 【今期実績の比較】

		全 体	
		江戸川区	全都
業況		-55	-46
売上額		-51	-47
収益		-51	-45
料金価格		-11	-5
材料価格		6	1
資金繰り		-30	-20
雇用	残業時間	-32	-22
	人手	-5	-10
同期比	売上額	-60	-51
	収益	-54	-49
経営上の問題点	① 売上の停滞・減少	49	54
	② 同業者間の競争の激化	30	30
	③ 取引先の減少	14	8
	④ 大企業との競争の激化	12	5
	⑤ 人手不足	12	17
重点経営施策	① 経費を節減する	40	44
	② 販路を広げる	28	41
	③ 宣伝・広告を強化する	21	18
	④ 人材を確保する	12	17
	⑤ 技術力を強化する	9	11
借入の難易度		-9	2

## 建設業

### 【今期実績の比較】

		全 体	
		江戸川区	全都
業況		-39	-27
売上額		-39	-30
受注残		-36	-27
施工高		-32	-24
収益		-40	-30
請負価格		-17	-9
材料価格		13	10
在庫		-6	-3
資金繰り		-12	-10
雇用	残業時間	-23	-14
	人手	-14	-21
同期比	売上額	-35	-36
	収益	-33	-34
経営上の問題点	① 売上の停滞・減少	56	42
	② 同業者間の競争の激化	28	31
	③ 人手不足	19	29
	④ 材料価格の上昇	16	11
	⑤ 利幅の縮小	14	16
重点経営施策	① 販路を広げる	40	47
	② 経費を節減する	33	42
	③ 技術力を高める	28	22
	④ 情報力を強化する	28	19
	⑤ 人材を確保する	26	32
借入の難易度		-8	9

### 【来期見通しの比較】

業況		-42	-40
売上額		-39	-34
収益		-43	-34
料金価格		-8	-5
材料価格		12	2
資金繰り		-21	-18
雇用	残業時間	-25	-17
	人手	-11	-11

\* 季節変動調整済D・を表示している項目。

【サービス業】:業況、売上額、収益、料金価格、材料価格、資金繰り

【建設業】:業況、売上額、受注残、施工高、収益、請負価格、材料価格、在庫、資金繰り

\* 単純D・を表示している項目。雇用面、同期比、借入の難易度

\* 企業割合(%)を表示している項目。経営上の問題点、重点経営施策

### 【来期見通しの比較】

業況		-24	-23
売上額		-19	-20
受注残		-23	-19
施工高		-22	-16
収益		-27	-22
請負価格		-12	-8
材料価格		11	9
在庫		-5	-3
資金繰り		-11	-8
雇用	残業時間	-19	-12
	人手	-9	-21

# 江戸川区の業種別転記表

(2021年1月～3月期)

## 製造業

### 転記表 No.1

2021年1月～3月期

注:各項目の右側は、前期調査における予想(予定)値です。

項 目	調査期	2019年		2019年		2019年		2020年		2020年		2020年		2020年		2021年		対 前期比	2021年 4～6月 期
		4月～6月期	7月～9月期	10月～12月期	1月～3月期	4月～6月期	7月～9月期	10月～12月期	1月～3月期	4月～6月期	7月～9月期	10月～12月期	1月～3月期						
業 況	良 い	15.9	13.1	14.2	13.7	11.2	10.8	7.7	7.9	3.0	7.9	4.3	3.1	4.5	2.5	3.9	1.3		1.4
	普 通	62.0	68.8	63.5	63.1	66.4	66.5	63.4	66.2	50.7	60.5	48.5	46.6	46.8	50.7	48.4	56.7		50.0
	悪 い	22.1	18.1	22.3	23.2	22.4	22.7	28.9	25.9	46.3	31.6	47.2	50.3	48.7	46.8	47.7	42.0		48.6
	D・I	-6.2	-5.0	-8.1	-9.5	-11.2	-11.9	-21.2	-18.0	-43.3	-23.7	-42.9	-47.2	-44.2	-44.3	-43.8	-40.7		-47.2
	修 正 値	-6.2	-5.5	-7.7	-9.2	-12.3	-12.1	-19.2	-17.6	-40.2	-22.1	-40.6	-43.8	-44.0	-42.8	-42.5	-39.9	1.5	-46.0
	傾 向 値	-9.0		-7.9		-7.8		-10.0		-16.3		-25.3		-33.8		-40.7			
売 上 額	増 加	17.4	12.1	11.7	12.4	13.8	9.2	8.2	7.7	4.9	5.7	6.2	6.1	5.8	7.4	2.0	4.5		2.0
	変 ら ず	60.0	74.3	66.0	68.4	68.3	74.0	65.1	73.3	45.1	69.0	42.6	45.7	47.1	50.6	49.6	55.5		54.4
	減 少	22.6	13.6	22.3	19.2	17.9	16.8	26.7	19.0	50.0	25.3	51.2	48.2	47.1	42.0	48.4	40.0		43.6
	D・I	-5.2	-1.5	-10.6	-6.8	-4.1	-7.6	-18.5	-11.3	-45.1	-19.6	-45.0	-42.1	-41.3	-34.6	-46.4	-35.5		-41.6
	修 正 値	-5.9	-2.7	-8.2	-7.3	-5.2	-7.6	-17.6	-10.2	-42.0	-18.8	-41.4	-39.1	-41.3	-33.5	-45.7	-34.7	-4.4	-40.3
	傾 向 値	-7.4		-6.8		-5.9		-7.4		-14.6		-23.9		-32.8		-41.0			
受 注 残	増 加	13.3	11.6	9.7	10.4	10.7	7.2	8.2	4.1	3.7	7.3	3.7	5.6	3.9	4.3	2.6	3.9		2.0
	変 ら ず	67.2	72.8	70.4	72.5	72.5	77.4	65.5	78.0	47.0	68.3	47.5	49.3	53.5	55.6	52.3	61.0		56.8
	減 少	19.5	15.6	19.9	17.1	16.8	15.4	26.3	17.9	49.3	24.4	48.8	45.1	42.6	40.1	45.1	35.1		41.2
	D・I	-6.2	-4.0	-10.2	-6.7	-6.1	-8.2	-18.1	-13.8	-45.6	-17.1	-45.1	-39.5	-38.7	-35.8	-42.5	-31.2		-39.2
	修 正 値	-4.8	-4.2	-7.4	-6.1	-8.6	-7.9	-16.4	-13.4	-42.1	-15.8	-41.4	-36.5	-40.3	-34.2	-41.5	-31.3	-1.2	-37.8
	傾 向 値	-6.2		-5.9		-5.8		-8.1		-15.1		-24.4		-32.8		-39.9			
収 益	増 加	14.9	10.1	12.2	9.3	12.8	9.7	7.7	6.7	4.9	7.2	4.3	6.1	4.5	6.2	3.3	3.9		4.7
	変 ら ず	65.1	75.3	65.5	71.5	65.8	72.4	64.6	72.3	46.3	66.5	45.7	45.4	49.0	52.4	48.3	57.8		54.0
	減 少	20.0	14.6	22.3	19.2	21.4	17.9	27.7	21.0	48.8	26.3	50.0	48.5	46.5	41.4	48.4	38.3		41.3
	D・I	-5.1	-4.5	-10.1	-9.9	-8.6	-8.2	-20.0	-14.3	-43.9	-19.1	-45.7	-42.4	-42.0	-35.2	-45.1	-34.4		-36.6
	修 正 値	-5.8	-4.8	-8.5	-9.5	-10.3	-8.7	-17.9	-14.7	-41.0	-18.0	-42.5	-38.7	-42.6	-34.1	-44.1	-34.7	-1.5	-36.0
	傾 向 値	-10.5		-8.7		-7.4		-9.0		-15.8		-25.1		-33.7		-41.0			
価 格 動 向	販 売 価 格	-1.0	-0.5	-1.0	-1.1	3.6	0.0	0.0	-1.1	-12.8	-3.6	-16.1	-15.3	-10.9	-8.6	-7.2	-7.7		-6.7
	〃 修 正 値	-1.3	-1.0	-1.2	-1.7	2.3	0.0	0.5	-1.5	-11.3	-3.4	-14.7	-14.3	-12.1	-8.3	-8.0	-8.3	4.1	-7.1
	〃 傾 向 値	-1.2		-1.0		-0.4		0.3		-1.1		-4.4		-8.1		-10.9			
	原 材 料 価 格	20.5	13.0	15.3	12.9	16.4	15.3	15.9	10.9	1.8	12.4	-3.1	-0.6	1.3	4.9	14.4	3.9		12.0
	〃 修 正 値	19.7	13.9	16.8	13.5	16.8	16.3	17.5	11.0	2.1	13.5	-1.3	0.9	1.2	5.2	12.5	3.3	11.3	10.7
	〃 傾 向 値	19.0		18.5		17.4		17.0		14.7		10.1		5.9		3.8			
在 庫 ・ 資 金 繰 り	原 材 料 在 庫 数 量	3.1	0.0	0.0	3.1	0.0	1.0	-0.6	-1.5	-0.6	-1.5	-1.9	-3.7	-2.5	2.5	-3.3	0.7		-4.0
	〃 修 正 値	1.9	0.5	0.4	1.7	1.1	1.4	-0.4	-0.5	-1.8	-0.9	-1.7	-4.7	-1.1	1.9	-3.0	1.6	-1.9	-3.1
	資 金 繰 り	-2.6	-7.0	-5.1	-4.6	-8.7	-5.1	-9.8	-10.4	-31.9	-12.9	-25.9	-32.5	-12.3	-17.3	-13.1	-13.7		-15.4
〃 修 正 値	-5.7	-6.2	-6.6	-7.0	-7.9	-6.6	-8.2	-9.9	-31.1	-11.4	-25.8	-31.4	-12.6	-18.2	-12.5	-13.8	0.1	-14.2	
前 年 同 期 比	売 上 額	-6.6		-7.1		-7.6		-14.4		-49.4		-48.8		-49.1		-49.6			
	収 益	-8.2		-6.6		-11.2		-19.5		-47.0		-48.2		-43.2		-47.6			
雇 用	残 業 時 間	-0.5	0.5	-4.6	-1.5	-5.1	-2.6	-4.6	-6.2	-25.6	-4.7	-17.9	-20.8	-22.1	-16.9	-20.9	-17.0		-17.9
	人 手	-10.2	-13.7	-13.2	-11.4	-15.3	-14.5	-16.5	-15.2	0.0	-15.7	1.2	-5.4	-3.2	0.0	-0.7	-3.9		-3.9
借 入 金	借入をし/借入の予定あり(%)	18.0	17.3	20.9	15.6	22.4	16.0	24.4	17.3	30.7	13.5	34.0	20.6	29.0	15.1	22.2	11.2		5.3
	借入しない/借入の予定なし(%)	82.0	82.7	79.1	84.4	77.6	84.0	75.6	82.7	69.3	86.5	66.0	79.4	71.0	84.9	77.8	88.8		94.7
	借 入 難 易 度	-1.2		-1.8		0.0		-3.1		-3.5		-3.5		-4.4		2.2			
有効回答事業所数		196		197		196		195		164		162		156		154			

# 製造業

## 転記表 No.2

2021年1月～3月期

注:各項目の右側は、前期調査における予想(予定)値です。

項 目	調査期		2019年		2019年		2019年		2020年		2020年		2020年		2020年		2021年		対 前期比	2021年 4～6月 期
	4月～6月期	7月～9月期	7月～9月期	10月～12月期	10月～12月期	1月～3月期	1月～3月期	4月～6月期	4月～6月期	7月～9月期	7月～9月期	10月～12月期	10月～12月期	1月～3月期	1月～3月期					
設備投資動向(%)	現在の設備	-6.3	-6.7	-5.1	-4.7	-4.1	-4.8	-6.2	-5.8	-4.2	-4.7	-2.5	-4.9	-1.3	-4.4	-6.6	-2.7		-6.7	
	実施した・予定あり	15.9	18.4	15.0	18.4	18.5	16.2	16.8	15.3	9.4	14.1	10.7	11.2	11.3	10.3	10.7	10.7		8.2	
	事業用土地・建物	16.7	5.7	17.2	17.6	13.9	12.9	21.9	13.8	20.0	23.1	11.8	23.5	17.6	25.0	12.5	12.5		16.7	
	機械・設備の新・増設	26.7	34.3	34.5	35.3	38.9	32.3	31.3	34.5	26.7	30.8	35.3	23.5	35.3	31.3	25.0	50.0		33.3	
	機械・設備の更改	33.3	28.6	44.8	29.4	44.4	32.3	43.8	48.3	33.3	26.9	11.8	47.1	29.4	25.0	25.0	31.3		25.0	
	事務機器	20.0	17.1	17.2	17.6	27.8	12.9	21.9	20.7	13.3	23.1	29.4	11.8	23.5	18.8	18.8	18.8		25.0	
	車両	23.3	31.4	24.1	23.5	11.1	29.0	25.0	20.7	46.7	23.1	58.8	29.4	47.1	31.3	43.8	31.3		16.7	
	その他	6.7	5.7	3.4	2.9	-	-	-	-	-	-	-	-	5.9	-	12.5	-		8.3	
	実施しない・予定なし	84.1	81.6	85.0	81.6	81.5	83.8	83.2	84.7	90.6	85.9	89.3	88.8	88.7	89.7	89.3	89.3		91.8	
	経営上の問題点(%)	売上の停滞・減少	33.7		33.5		36.2		37.4		49.4		54.9		48.7		48.7			
人手不足		11.7		18.3		15.3		17.9		8.5		9.3		9.6		9.1				
大手企業との競争の激化		11.2		8.6		7.7		9.2		8.5		8.0		10.9		6.5				
同業者間の競争の激化		19.4		20.3		20.4		20.0		17.1		19.1		18.6		18.8				
親企業による選別の強化		2.0		1.5		3.1		2.6		1.2		1.9		1.3		1.3				
輸入製品との競争の激化		5.6		3.6		4.1		3.6		3.7		3.7		3.2		3.2				
合理化の不足		4.6		5.6		3.1		3.1		3.0		3.1		3.8		4.5				
利幅の縮小		17.3		16.2		14.8		17.4		13.4		8.6		14.7		13.6				
原材料高		19.4		13.2		15.8		12.3		11.6		8.0		10.3		11.7				
販売納入先からの値下げ要請		5.1		4.6		5.1		5.6		8.5		8.0		6.4		4.5				
仕入先からの値上げ要請		3.6		5.6		3.6		2.1		0.6		1.9		3.2		1.3				
人件費の増加		7.7		7.1		7.1		7.2		3.7		3.7		6.4		3.9				
人件費以外の経費増加		2.6		4.6		3.1		2.1		2.4		2.5		0.6		1.9				
工場・機械の狭小・老朽化		7.7		9.6		9.7		8.2		8.5		6.2		7.7		7.1				
生産能力の不足		3.1		3.6		2.0		1.5		1.8		4.9		5.8		4.5				
下請の確保難		4.1		3.6		3.6		3.6		5.5		3.1		1.9		1.9				
代金回収の悪化		0.5		0.5		-		1.0		0.6		1.2		0.6		1.3				
地価の高騰		-		-		-		-		-		-		-		-				
天候の不順		-		0.5		1.0		2.1		1.2		-		-		0.6				
地場産業の衰退		2.6		2.5		2.0		2.1		1.2		2.5		1.9		2.6				
大手企業・工場の縮小・撤退	1.0		2.0		1.0		0.5		1.8		3.1		3.2		1.3					
為替レートの変動	-		0.5		-		0.5		-		-		-		-					
その他	-		0.5		1.5		2.1		7.3		4.3		3.2		2.6					
問題なし	11.7		10.7		13.3		11.3		12.2		10.5		11.5		13.0					
重点経営施策(%)	販路を広げる	52.0		49.2		48.5		48.2		53.0		51.9		53.2		52.6				
	経費を節減する	38.3		41.6		40.8		42.1		39.6		46.3		48.1		46.8				
	情報力を強化する	15.8		18.3		14.8		12.8		12.2		14.8		16.7		13.6				
	新製品・技術を開発する	11.2		11.2		8.2		8.7		9.1		8.6		8.3		7.8				
	不採算部門を整理・縮小する	2.6		4.1		3.1		2.1		3.7		3.1		3.2		3.9				
	提携先を見つける	7.1		6.6		6.6		7.2		7.3		4.3		7.7		5.2				
	機械化を推進する	6.6		6.1		6.1		7.7		4.9		6.8		6.4		5.8				
	人材を確保する	11.7		15.7		17.9		17.4		8.5		9.3		7.7		5.8				
	パート化を図る	1.5		2.0		2.0		1.5		1.2		0.6		1.3		0.6				
	教育訓練を強化する	5.1		4.1		4.1		6.2		3.0		3.7		3.2		1.3				
	労働条件を改善する	1.5		1.5		2.6		1.5		3.0		1.9		2.6		1.9				
	工場・機械を増設・移転する	3.6		4.6		4.1		4.1		4.9		1.9		1.9		2.6				
	不動産の有効活用を図る	-		-		-		1.0		-		-		0.6		0.6				
	その他	0.5		-		0.5		0.5		1.8		-		-		0.6				
	特になし	16.8		14.2		13.3		13.3		18.3		16.7		14.1		13.6				
有効回答事業所数	196		197		196		195		164		162		156		154					



# 小売業

## 転記表 No.1

2021年1月～3月期

注:各項目の右側は、前期調査における予想(予定)値です。

項 目	調査期	2019年		2019年		2019年		2020年		2020年		2020年		2020年		2021年		対 前期比	2021年 4～6月 期
		4月～6月期		7月～9月期		10月～12月期		1月～3月期		4月～6月期		7月～9月期		10月～12月期		1月～3月期			
業 況	良 い	6.7	3.2	4.3	4.4	3.4	3.2	5.8	4.6	8.5	3.7	5.6	1.4	4.2	2.9	6.9	-	1.4	
	普 通	61.1	62.1	64.8	64.5	59.8	64.5	59.3	57.5	46.4	56.8	52.1	60.0	56.9	52.8	48.7	57.1	52.8	
	悪 い	32.2	34.7	30.9	31.1	36.8	32.3	34.9	37.9	45.1	39.5	42.3	38.6	38.9	44.3	44.4	42.9	45.8	
	D・I	-25.5	-31.5	-26.6	-26.7	-33.4	-29.1	-29.1	-33.3	-36.6	-35.8	-36.7	-37.2	-34.7	-41.4	-37.5	-42.9	-44.4	
	<b>修正値</b>	<b>-30.1</b>	<b>-30.0</b>	<b>-27.2</b>	<b>-30.3</b>	<b>-31.7</b>	<b>-30.6</b>	<b>-28.7</b>	<b>-32.6</b>	<b>-37.8</b>	<b>-33.3</b>	<b>-37.1</b>	<b>-38.6</b>	<b>-33.2</b>	<b>-42.3</b>	<b>-37.2</b>	<b>-41.9</b>	<b>-4.0</b>	<b>-41.8</b>
	傾 向 値	-24.9		-26.2		-27.9		-28.8		-30.0		-32.7		-34.1		-35.3			
売 上 額	増 加	11.1	4.2	7.4	5.6	6.9	6.4	9.3	5.8	4.2	7.1	4.2	4.2	5.6	5.7	4.2	-	-	
	変 ら ず	70.0	77.0	69.2	74.4	64.4	71.3	65.1	74.4	46.5	65.5	50.7	56.4	51.3	52.9	47.2	59.7	51.4	
	減 少	18.9	18.8	23.4	20.0	28.7	22.3	25.6	19.8	49.3	27.4	45.1	39.4	43.1	41.4	48.6	40.3	48.6	
	D・I	-7.8	-14.6	-16.0	-14.4	-21.8	-15.9	-16.3	-14.0	-45.1	-20.3	-40.9	-35.2	-37.5	-35.7	-44.4	-40.3	-48.6	
	<b>修正値</b>	<b>-12.2</b>	<b>-14.0</b>	<b>-16.3</b>	<b>-17.3</b>	<b>-22.4</b>	<b>-18.0</b>	<b>-15.9</b>	<b>-14.5</b>	<b>-43.6</b>	<b>-18.4</b>	<b>-39.9</b>	<b>-33.6</b>	<b>-37.6</b>	<b>-36.5</b>	<b>-43.6</b>	<b>-39.8</b>	<b>-6.0</b>	<b>-46.4</b>
	傾 向 値	-13.0		-12.2		-14.2		-15.4		-20.1		-27.9		-33.0		-38.5			
収 益	増 加	10.0	3.1	6.4	4.4	6.9	4.3	9.4	5.8	5.6	6.0	4.2	4.2	5.6	4.3	2.8	1.4	-	
	変 ら ず	70.0	79.2	69.1	72.3	70.1	73.4	60.0	81.4	50.7	63.9	50.7	60.6	50.0	52.8	50.0	58.3	51.4	
	減 少	20.0	17.7	24.5	23.3	23.0	22.3	30.6	12.8	43.7	30.1	45.1	35.2	44.4	42.9	47.2	40.3	48.6	
	D・I	-10.0	-14.6	-18.1	-18.9	-16.1	-18.0	-21.2	-7.0	-38.1	-24.1	-40.9	-31.0	-38.8	-38.6	-44.4	-38.9	-48.6	
	<b>修正値</b>	<b>-13.2</b>	<b>-13.3</b>	<b>-18.8</b>	<b>-20.0</b>	<b>-18.5</b>	<b>-20.6</b>	<b>-19.4</b>	<b>-10.3</b>	<b>-36.4</b>	<b>-21.2</b>	<b>-40.2</b>	<b>-28.9</b>	<b>-39.6</b>	<b>-39.0</b>	<b>-42.7</b>	<b>-40.2</b>	<b>-3.1</b>	<b>-45.4</b>
	傾 向 値	-13.0		-12.5		-14.0		-15.4		-19.9		-26.2		-31.9		-37.7			
価 格 動 向	販 売 価 格	2.2	4.2	2.2	3.3	12.7	6.4	-1.2	10.5	-16.9	1.2	-8.5	-16.9	-8.3	-10.0	-5.5	-13.9	-11.1	
	〃 修正値	1.0	2.8	3.5	1.0	9.3	6.8	-0.1	10.3	-14.5	2.2	-6.8	-15.4	-10.8	-9.5	-5.8	-14.2	5.0	-10.6
	〃 傾向値	6.1		5.0		5.7		5.3		1.6		-2.1		-6.1		-9.3			
	仕 入 価 格	12.3	10.4	9.6	11.1	18.4	14.9	9.3	16.2	-12.7	10.7	-7.1	-11.5	-5.5	-8.6	1.3	-8.3	-4.1	
	〃 修正値	11.4	9.7	11.3	9.0	16.1	16.6	10.1	15.2	-10.1	11.1	-4.0	-9.6	-7.4	-6.2	0.0	-9.1	7.4	-5.0
	〃 傾向値	10.1		10.3		11.4		12.4		9.3		4.1		-1.0		-5.0			
在 庫 ・ 資 金 繰 り	在 庫 数 量	6.7	-1.1	5.3	6.8	3.5	4.3	1.1	2.3	-5.7	1.2	-1.5	-7.1	-1.4	-2.9	-2.8	-1.3	-2.8	
	〃 修正値	3.8	-0.4	6.6	4.7	2.0	5.5	2.1	0.9	-6.4	1.9	-0.3	-7.2	-2.2	-1.9	-1.6	-2.5	0.6	-2.0
	資 金 繰 り	-7.7	-14.6	-14.9	-10.1	-12.6	-12.8	-11.6	-13.9	-29.6	-14.3	-18.3	-25.4	-15.2	-18.6	-19.4	-13.8	-19.4	
	〃 修正値	-9.8	-14.4	-15.2	-11.1	-14.3	-14.5	-12.1	-15.1	-28.9	-14.2	-18.6	-24.6	-16.5	-20.4	-19.7	-14.9	-3.2	-18.3
前 年 同 期 比	売 上 額	-7.8		-17.0		-17.3		-18.6		-45.1		-43.7		-34.7		-40.2			
	収 益	-12.2		-17.0		-18.4		-20.9		-40.9		-42.3		-36.1		-43.0			
	販 売 価 格	4.5		5.3		9.2		4.7		-12.8		-7.1		-12.5		-11.1			
雇 用	残 業 時 間	-2.3	-6.4	-8.5	-6.9	-8.1	-6.4	-4.7	-6.0	-18.5	-5.9	-14.3	-15.7	-7.1	-15.9	-13.9	-9.9	-9.9	
	人 手	-4.5	-12.6	-7.4	-4.5	-7.0	-9.7	-8.2	-8.3	-7.2	-8.3	-4.2	-4.4	-4.2	-2.8	-2.8	-4.2	-1.4	
借 入 金	借入をした/借入の予定あり(%)	14.4	8.3	18.1	9.1	20.7	4.3	17.4	7.1	21.7	9.4	25.4	13.0	21.1	7.0	17.1	7.0	7.1	
	借入しない/借入の予定なし(%)	85.6	91.7	81.9	90.9	79.3	95.7	82.6	92.9	78.3	90.6	74.6	87.0	78.9	93.0	82.9	93.0	92.9	
	借 入 難 易 度	-5.8		0.0		-2.9		-15.6		-10.9		0.0		-12.5		-12.5			
有効回答事業所数		93		94		87		86		74		71		72		72			

# 小売業

## 転記表 No.2

2021年1月～3月期

注：各項目の右側は、前期調査における予想(予定)値です。

項 目	調査期		2019年		2019年		2019年		2020年		2020年		2020年		2020年		2021年		対 前期比	2021年 4～6月 期
	4月～6月期	7月～9月期	7月～9月期	10月～12月期	10月～12月期	1月～3月期	4月～6月期	7月～9月期	10月～12月期	10月～12月期	1月～3月期	4月～6月期	7月～9月期	10月～12月期	1月～3月期	4月～6月期				
設備投資動向(%)	現在の設備	-5.6	-3.1	-5.3	-5.8	-3.5	-6.4	-1.1	-6.0	-4.3	-2.3	-7.0	-5.8	-4.3	-4.4	-7.1	-5.7		-8.5	
	実施した・予定あり	8.0	5.4	8.6	2.4	5.8	2.3	4.8	3.6	6.2	6.1	9.0	3.1	4.6	9.1	2.9	4.7		2.9	
	事業用土地・建物	-	40.0	25.0	-	-	-	25.0	-	25.0	20.0	16.7	-	-	16.7	-	-		-	
	事務機器	71.4	40.0	37.5	100.0	60.0	50.0	25.0	33.3	25.0	20.0	16.7	50.0	-	33.3	-	33.3		100.0	
	車両	14.3	20.0	12.5	-	-	-	25.0	33.3	25.0	40.0	50.0	50.0	33.3	33.3	50.0	-		50.0	
	その他	28.6	-	37.5	-	60.0	50.0	25.0	33.3	25.0	20.0	33.3	50.0	66.7	33.3	50.0	66.7		-	
	実施しない・予定なし	92.0	94.6	91.4	97.6	94.2	97.7	95.2	96.4	93.8	93.9	91.0	96.9	95.4	90.9	97.1	95.3		97.1	
経営上の問題点(%)	売上の停滞・減少	40.9		38.3		41.4		38.4		45.9		59.2		50.0		45.8				
	人手不足	8.6		8.5		10.3		8.1		4.1		1.4		4.2		2.8				
	同業者間の競争の激化	26.9		29.8		29.9		24.4		17.6		22.5		27.8		26.4				
	大型店との競争の激化	26.9		30.9		28.7		31.4		31.1		28.2		23.6		25.0				
	輸入製品との競争の激化	1.1		2.1		-		-		1.4		-		-		-				
	利幅の縮小	10.8		7.4		8.0		3.5		6.8		7.0		11.1		8.3				
	取扱商品の陳腐化	3.2		2.1		3.4		2.3		1.4		1.4		5.6		6.9				
	販売商品の不足	4.3		2.1		2.3		2.3		4.1		2.8		2.8		1.4				
	販売納入先からの値下げ要請	1.1		1.1		-		-		-		-		-		-				
	仕入先からの値上げ要請	10.8		11.7		10.3		9.3		2.7		5.6		2.8		4.2				
	人件費の増加	2.2		2.1		3.4		1.2		1.4		-		-		-				
	人件費以外の経費の増加	1.1		3.2		2.3		4.7		4.1		2.8		1.4		1.4				
	取引先の減少	3.2		7.4		8.0		4.7		5.4		7.0		4.2		6.9				
	商圏人口の減少	7.5		5.3		6.9		2.3		-		-		4.2		5.6				
	商店街の集客力の低下	14.0		13.8		13.8		14.0		12.2		14.1		15.3		16.7				
	店舗の狭小・老朽化	3.2		3.2		3.4		5.8		2.7		4.2		4.2		4.2				
	代金回収の悪化	-		-		-		-		-		-		-		-				
地価の高騰	-		-		-		-		-		-		-		-					
駐車場の確保難	-		-		-		-		-		-		-		-					
天候の不順	-		3.2		5.7		8.1		-		5.6		2.8		2.8					
地場産業の衰退	-		2.1		-		1.2		-		-		1.4		-					
大手企業・工場の縮小・撤退	-		-		-		1.2		-		1.4		-		-					
その他	2.2		2.1		4.6		3.5		4.1		4.2		1.4		4.2					
問題なし	10.8		11.7		10.3		14.0		13.5		8.5		16.7		13.9					
重点経営施策(%)	品揃えを改善する	29.0		37.2		25.3		29.1		21.6		25.4		29.2		27.8				
	経費を節減する	32.3		33.0		39.1		39.5		32.4		45.1		36.1		36.1				
	宣伝・広報を強化する	26.9		23.4		27.6		17.4		23.0		15.5		22.2		22.2				
	新しい事業を始める	1.1		1.1		1.1		1.2		1.4		1.4		4.2		4.2				
	店舗・設備を改装する	2.2		6.4		5.7		5.8		-		4.2		4.2		1.4				
	仕入先を開拓・選別する	6.5		5.3		4.6		3.5		4.1		4.2		6.9		4.2				
	営業時間を延長する	4.3		3.2		3.4		3.5		2.7		1.4		2.8		-				
	売れ筋商品を取り扱う	21.5		16.0		20.7		20.9		17.6		18.3		18.1		15.3				
	商店街事業を活性化させる	12.9		12.8		12.6		5.8		13.5		8.5		11.1		12.5				
	機械化を推進する	1.1		2.1		1.1		1.2		-		1.4		4.2		1.4				
	人材を確保する	5.4		1.1		5.7		3.5		4.1		2.8		5.6		1.4				
	パート化を図る	1.1		1.1		3.4		2.3		1.4		1.4		1.4		1.4				
	教育訓練を強化する	1.1		1.1		1.1		1.2		1.4		1.4		-		-				
	輸入品の取扱いを増やす	-		-		-		-		-		-		-		-				
	不動産の有効活用を図る	2.2		2.1		3.4		7.0		2.7		1.4		2.8		-				
その他	2.2		2.1		2.3		3.5		-		1.4		1.4		2.8					
特になし	12.9		17.0		14.9		19.8		23.0		19.7		19.4		22.2					
有効回答事業所数	93		94		87		86		74		71		72		72					

# サービス業

## 転記表 No.1

2021年1月～3月期

注:各項目の右側は、前期調査における予想(予定)値です。

項 目	調査期	2019年		2019年		2019年		2020年		2020年		2020年		2020年		2021年		対 前期比	2021年 4～6月 期
		4月～6月期		7月～9月期		10月～12月期		1月～3月期		4月～6月期		7月～9月期		10月～12月期		1月～3月期			
業 況	良 い	13.9	9.7	12.9	9.7	10.0	8.6	7.1	8.7	1.7	7.1	1.9	1.8	1.9	1.9	-	-		3.6
	普 通	72.2	70.9	74.2	73.6	75.7	74.3	74.3	73.9	41.4	67.2	49.0	44.6	52.8	50.9	43.9	59.3		50.9
	悪 い	13.9	19.4	12.9	16.7	14.3	17.1	18.6	17.4	56.9	25.7	49.1	53.6	45.3	47.2	56.1	40.7		45.5
	D・I	0.0	-9.7	0.0	-7.0	-4.3	-8.5	-11.5	-8.7	-55.2	-18.6	-47.2	-51.8	-43.4	-45.3	-56.1	-40.7		-41.9
	<b>修正値</b>	<b>-5.6</b>	<b>-11.3</b>	<b>-3.2</b>	<b>-7.8</b>	<b>-2.2</b>	<b>-10.7</b>	<b>-11.1</b>	<b>-9.2</b>	<b>-53.7</b>	<b>-19.6</b>	<b>-46.8</b>	<b>-48.8</b>	<b>-42.4</b>	<b>-44.4</b>	<b>-55.1</b>	<b>-40.6</b>	<b>-12.7</b>	<b>-42.0</b>
	傾 向 値	-11.4		-8.4		-5.2		-3.7		-10.9		-23.7		-34.4		-44.9			
売 上 額	増 加	8.3	5.5	11.4	5.6	10.0	10.0	8.6	7.1	3.4	7.1	-	3.5	1.9	1.9	-	5.6		3.5
	変 ら ず	76.4	72.6	72.9	73.6	72.9	71.4	70.0	71.5	37.9	65.8	50.9	35.1	44.4	52.8	47.4	55.5		52.6
	減 少	15.3	21.9	15.7	20.8	17.1	18.6	21.4	21.4	58.7	27.1	49.1	61.4	53.7	45.3	52.6	38.9		43.9
	D・I	-7.0	-16.4	-4.3	-15.2	-7.1	-8.6	-12.8	-14.3	-55.3	-20.0	-49.1	-57.9	-51.8	-43.4	-52.6	-33.3		-40.4
	<b>修正値</b>	<b>-12.9</b>	<b>-15.8</b>	<b>-5.7</b>	<b>-15.5</b>	<b>-4.1</b>	<b>-9.6</b>	<b>-11.2</b>	<b>-15.7</b>	<b>-54.5</b>	<b>-19.3</b>	<b>-48.4</b>	<b>-55.2</b>	<b>-50.0</b>	<b>-42.4</b>	<b>-51.3</b>	<b>-34.7</b>	<b>-1.3</b>	<b>-38.9</b>
	傾 向 値	-10.2		-10.5		-8.9		-7.6		-13.8		-25.5		-36.7		-47.2			
収 益	増 加	11.1	6.8	7.1	5.6	7.1	5.7	7.1	2.9	3.4	7.2	-	3.4	1.9	1.9	-	5.6		1.8
	変 ら ず	73.6	72.7	75.8	75.0	80.0	70.0	68.6	80.0	36.2	66.7	52.8	34.5	44.4	50.9	47.4	53.7		52.6
	減 少	15.3	20.5	17.1	19.4	12.9	24.3	24.3	17.1	60.4	26.1	47.2	62.1	53.7	47.2	52.6	40.7		45.6
	D・I	-4.2	-13.7	-10.0	-13.8	-5.8	-18.6	-17.2	-14.2	-57.0	-18.9	-47.2	-58.7	-51.8	-45.3	-52.6	-35.1		-43.8
	<b>修正値</b>	<b>-11.6</b>	<b>-12.4</b>	<b>-11.6</b>	<b>-15.1</b>	<b>-2.5</b>	<b>-18.9</b>	<b>-14.5</b>	<b>-15.3</b>	<b>-56.5</b>	<b>-18.2</b>	<b>-46.1</b>	<b>-56.3</b>	<b>-50.4</b>	<b>-43.3</b>	<b>-50.7</b>	<b>-36.6</b>	<b>-0.3</b>	<b>-42.6</b>
	傾 向 値	-14.7		-12.9		-10.8		-9.2		-15.9		-27.2		-37.6		-47.7			
価 格 動 向	料 金 価 格	1.3	-1.4	4.3	-2.8	8.6	0.0	2.8	1.5	-20.7	-1.5	-5.6	-20.7	-5.6	-1.9	-12.2	-1.9		-8.8
	〃 修正値	<b>-1.3</b>	<b>-2.9</b>	<b>2.7</b>	<b>-3.0</b>	<b>8.1</b>	<b>-1.3</b>	<b>3.0</b>	<b>0.3</b>	<b>-19.2</b>	<b>-2.7</b>	<b>-6.4</b>	<b>-18.2</b>	<b>-7.1</b>	<b>-3.7</b>	<b>-11.1</b>	<b>-3.3</b>	<b>-4.0</b>	<b>-8.2</b>
	〃 傾向値	-0.6		0.0		2.2		3.7		1.5		-2.5		-5.5		-9.2			
	材 料 価 格	18.0	9.6	18.5	16.7	23.2	15.7	20.0	14.5	-3.5	21.8	7.7	1.7	5.6	7.7	7.0	11.1		12.2
	〃 修正値	<b>17.2</b>	<b>12.3</b>	<b>16.4</b>	<b>14.2</b>	<b>23.4</b>	<b>13.9</b>	<b>20.2</b>	<b>14.8</b>	<b>-1.6</b>	<b>22.4</b>	<b>7.5</b>	<b>1.0</b>	<b>5.0</b>	<b>7.4</b>	<b>5.8</b>	<b>10.7</b>	<b>0.8</b>	<b>11.5</b>
	〃 傾向値	15.7		15.7		17.2		19.1		17.2		13.2		9.7		5.8			
在 庫 ・ 資 金 繰 り	資 金 繰 り	-15.5	-19.2	-12.8	-14.1	-7.1	-14.3	-20.0	-12.9	-43.1	-21.8	-35.8	-43.1	-22.2	-24.5	-31.6	-11.1		-22.8
	〃 修正値	<b>-15.8</b>	<b>-18.7</b>	<b>-15.4</b>	<b>-15.0</b>	<b>-8.7</b>	<b>-13.7</b>	<b>-17.8</b>	<b>-14.7</b>	<b>-39.7</b>	<b>-20.0</b>	<b>-34.8</b>	<b>-40.8</b>	<b>-24.6</b>	<b>-23.3</b>	<b>-29.6</b>	<b>-15.3</b>	<b>-5.0</b>	<b>-20.8</b>
前 年 同 期 比	売 上 額	-9.7		-2.9		-11.4		-14.3		-62.1		-56.6		-53.6		-59.6			
	収 益	-5.6		-7.1		-2.9		-18.9		-62.1		-60.4		-57.3		-54.4			
雇 用	残 業 時 間	-5.5	-9.9	-8.6	-5.7	-4.3	-4.3	-11.4	-2.9	-36.3	-4.4	-24.5	-29.8	-20.4	-18.9	-31.5	-20.4		-24.5
	人 手	-20.8	-23.9	-18.6	-21.1	-20.0	-18.6	-12.8	-18.8	-3.5	-13.3	-15.1	-5.3	-9.3	-15.1	-5.2	-9.3		-10.5
借 入 金	借入をした/借入の予定あり(%)	18.1	5.6	18.6	5.7	12.9	8.8	10.0	10.1	31.5	10.3	35.3	22.8	26.4	9.8	16.1	9.3		7.0
	借入しない/借入の予定なし(%)	81.9	94.4	81.4	94.3	87.1	91.2	90.0	89.9	68.5	89.7	64.7	77.2	73.6	90.2	83.9	90.7		93.0
	<b>借入難易度</b>	<b>-7.5</b>		<b>-10.2</b>		<b>-8.5</b>		<b>-15.7</b>		<b>-4.5</b>		<b>0.0</b>		<b>-4.8</b>		<b>-8.7</b>			
有効回答事業所数		72		70		70		70		58		54		55		57			

# サービス業

## 転記表 No.2

2021年1月～3月期

注:各項目の右側は、前期調査における予想(予定)値です。

項 目	調査期		2019年		2019年		2019年		2020年		2020年		2020年		2020年		2021年		対 前期比	2021年 4～6月 期
	4月～6月期	7月～9月期	7月～9月期	10月～12月期	1月～3月期	4月～6月期	7月～9月期	10月～12月期	1月～3月期	4月～6月期	7月～9月期	10月～12月期	1月～3月期	4月～6月期	7月～9月期	10月～12月期	1月～3月期			
設備投資動向(%)	現在の設備	-9.9	-4.2	-2.9	-14.3	0.0	-5.8	-1.5	1.4	-8.7	-4.6	-9.6	-10.7	-3.7	-9.8	-5.5	-3.7		-5.5	
	実施した・予定あり	13.2	12.7	11.6	13.6	19.1	11.9	15.9	15.4	8.9	15.2	10.0	10.9	9.4	12.2	10.7	7.5		8.9	
	事業用土地・建物	33.3	11.1	37.5	11.1	15.4	12.5	9.1	10.0	20.0	20.0	40.0	16.7	20.0	16.7	16.7	50.0		40.0	
	機械・設備の新・増設	33.3	11.1	25.0	22.2	38.5	37.5	36.4	40.0	-	30.0	40.0	-	40.0	16.7	50.0	25.0		60.0	
	機械・設備の更改	11.1	11.1	12.5	33.3	38.5	-	27.3	30.0	-	10.0	40.0	16.7	-	33.3	-	-		-	
	事務機器	55.6	22.2	37.5	22.2	30.8	25.0	45.5	50.0	80.0	30.0	20.0	16.7	20.0	33.3	16.7	-		-	
	車両	33.3	44.4	25.0	44.4	30.8	62.5	27.3	40.0	60.0	50.0	20.0	66.7	40.0	50.0	50.0	50.0		40.0	
	その他	11.1	11.1	12.5	-	7.7	12.5	9.1	-	-	10.0	-	-	40.0	-	-	-		-	
	実施しない・予定なし	86.8	87.3	88.4	86.4	80.9	88.1	84.1	84.6	91.1	84.8	90.0	89.1	90.6	87.8	89.3	92.5		91.1	
	経営上の問題点(%)	売上の停滞・減少	36.1		34.3		32.9		31.4		62.1		55.6		49.1		49.1			
人手不足		19.4		21.4		22.9		20.0		12.1		11.1		9.1		12.3				
同業者間の競争の激化		41.7		40.0		38.6		45.7		32.8		25.9		25.5		29.8				
大企業との競争の激化		13.9		12.9		14.3		14.3		5.2		11.1		10.9		12.3				
合理化の不足		1.4		1.4		2.9		1.4		-		-		-		-				
利幅の縮小		11.1		14.3		12.9		11.4		12.1		14.8		10.9		8.8				
取扱事務の陳腐化		-		-		-		-		-		-		-		-				
材料価格の上昇		8.3		8.6		12.9		14.3		-		5.6		3.6		8.8				
料金の値下げ要請		1.4		-		2.9		4.3		3.4		3.7		1.8		-				
人件費の増加		8.3		5.7		10.0		5.7		8.6		1.9		10.9		3.5				
人件費以外の経費の増加		1.4		5.7		-		4.3		1.7		-		-		-				
技術力の不足		4.2		1.4		-		2.9		-		-		-		-				
取引先の減少		8.3		8.6		10.0		10.0		12.1		9.3		12.7		14.0				
商圏人口の減少		5.6		2.9		1.4		4.3		3.4		1.9		3.6		1.8				
地価の高騰		-		-		-		-		-		-		1.8		-				
駐車場の確保難		4.2		4.3		-		-		1.7		1.9		-		1.8				
店舗・設備の狭小・老朽化		8.3		7.1		7.1		10.0		3.4		9.3		5.5		7.0				
代金回収の悪化		1.4		2.9		-		1.4		3.4		-		1.8		-				
天候の不順		4.2		1.4		4.3		4.3		-		3.7		1.8		1.8				
地場産業の衰退		1.4		-		2.9		-		-		-		1.8		-				
大手企業・工場の縮小・撤退		4.2		-		1.4		-		1.7		5.6		-		-				
その他		-		-		-		4.3		8.6		1.9		7.3		5.3				
問題なし		11.1		14.3		12.9		8.6		6.9		13.0		14.5		21.1				
重点経営施策(%)	販路を広げる	37.5		30.0		32.9		38.6		37.9		40.7		32.7		28.1				
	経費を節減する	30.6		37.1		32.9		37.1		43.1		38.9		38.2		40.4				
	宣伝・広告を強化する	20.8		24.3		30.0		34.3		31.0		24.1		20.0		21.1				
	新しい事業を始める	2.8		4.3		2.9		4.3		1.7		3.7		1.8		1.8				
	店舗・設備を改装する	11.1		7.1		7.1		10.0		1.7		5.6		10.9		7.0				
	提携先を見つける	12.5		8.6		8.6		4.3		6.9		5.6		3.6		7.0				
	技術力を強化する	12.5		5.7		10.0		17.1		5.2		5.6		12.7		8.8				
	機械化を推進する	-		-		2.9		2.9		-		1.9		-		1.8				
	人材を確保する	20.8		20.0		21.4		15.7		10.3		13.0		9.1		12.3				
	パート化を図る	2.8		1.4		2.9		-		1.7		1.9		-		-				
	教育訓練を強化する	5.6		5.7		5.7		8.6		3.4		3.7		9.1		5.3				
	労働条件を改善する	5.6		8.6		10.0		4.3		5.2		3.7		7.3		5.3				
	不動産の有効活用を図る	-		2.9		1.4		-		-		-		-		-				
	その他	-		-		-		1.4		3.4		-		1.8		-				
特になし	18.1		18.6		17.1		12.9		15.5		20.4		25.5		28.1					
有効回答事業所数	72		70		70		70		58		54		55		57					

# 建設業

## 転記表 No.1

2021年1月～3月期

注:各項目の右側は、前期調査における予想(予定)値です。

項 目	調査期	2019年		2019年		2019年		2020年		2020年		2020年		2020年		2021年		対 前期比	2021年 4～6月 期
		4月～6月期		7月～9月期		10月～12月期		1月～3月期		4月～6月期		7月～9月期		10月～12月期		1月～3月期			
業 況	良 い	25.8	19.4	30.6	17.7	18.0	17.7	15.3	14.8	5.7	13.6	11.5	5.7	10.2	7.8	7.0	10.2		9.3
	普 通	56.5	64.5	54.9	71.0	65.6	66.2	64.4	70.4	49.0	62.7	57.7	52.8	55.1	53.0	46.5	53.1		55.8
	悪 い	17.7	16.1	14.5	11.3	16.4	16.1	20.3	14.8	45.3	23.7	30.8	41.5	34.7	39.2	46.5	36.7		34.9
	D・I	8.1	3.3	16.1	6.4	1.6	1.6	-5.0	0.0	-39.6	-10.1	-19.3	-35.8	-24.5	-31.4	-39.5	-26.5		-25.6
	<b>修正値</b>	<b>8.3</b>	<b>4.0</b>	<b>17.6</b>	<b>1.7</b>	<b>1.8</b>	<b>3.3</b>	<b>-6.1</b>	<b>2.0</b>	<b>-34.8</b>	<b>-7.2</b>	<b>-17.4</b>	<b>-34.0</b>	<b>-24.5</b>	<b>-28.8</b>	<b>-39.3</b>	<b>-26.5</b>	<b>-14.8</b>	<b>-24.2</b>
	傾 向 値	8.7		10.7		11.0		7.4		-0.8		-11.2		-18.8		-26.4			
売 上 額	増 加	24.2	12.9	29.0	14.5	21.3	9.7	20.3	13.1	3.8	8.5	13.5	9.4	12.2	5.8	7.0	12.2		9.3
	変 ら ず	61.3	64.5	56.5	72.6	68.9	70.9	59.4	70.5	47.2	71.2	50.0	43.4	47.0	57.7	44.2	49.0		58.1
	減 少	14.5	22.6	14.5	12.9	9.8	19.4	20.3	16.4	49.0	20.3	36.5	47.2	40.8	36.5	48.8	38.8		32.6
	D・I	9.7	-9.7	14.5	1.6	11.5	-9.7	0.0	-3.3	-45.2	-11.8	-23.0	-37.8	-28.6	-30.7	-41.8	-26.6		-23.3
	<b>修正値</b>	<b>9.7</b>	<b>-4.9</b>	<b>15.0</b>	<b>-4.5</b>	<b>7.0</b>	<b>-6.0</b>	<b>3.5</b>	<b>-3.6</b>	<b>-40.4</b>	<b>-4.2</b>	<b>-21.7</b>	<b>-38.0</b>	<b>-31.7</b>	<b>-28.0</b>	<b>-38.7</b>	<b>-28.0</b>	<b>-7.0</b>	<b>-19.0</b>
	傾 向 値	15.5		14.6		13.2		10.3		2.1		-9.5		-19.2		-29.4			
受 注 残	増 加	21.0	12.9	17.7	12.9	16.4	9.7	16.9	9.8	3.8	8.5	7.7	9.4	12.5	5.8	7.0	14.6		9.3
	変 ら ず	67.7	66.1	67.8	75.8	75.4	70.9	64.5	73.8	49.0	72.9	55.8	43.4	45.8	59.6	48.8	47.9		55.8
	減 少	11.3	21.0	14.5	11.3	8.2	19.4	18.6	16.4	47.2	18.6	36.5	47.2	41.7	34.6	44.2	37.5		34.9
	D・I	9.7	-8.1	3.2	1.6	8.2	-9.7	-1.7	-6.6	-43.4	-10.1	-28.8	-37.8	-29.2	-28.8	-37.2	-22.9		-25.6
	<b>修正値</b>	<b>11.3</b>	<b>-6.1</b>	<b>7.1</b>	<b>-1.2</b>	<b>4.3</b>	<b>-6.7</b>	<b>-0.8</b>	<b>-6.2</b>	<b>-38.6</b>	<b>-6.5</b>	<b>-24.7</b>	<b>-36.2</b>	<b>-31.9</b>	<b>-26.6</b>	<b>-36.0</b>	<b>-24.4</b>	<b>-4.1</b>	<b>-22.5</b>
	傾 向 値	13.1		11.8		10.0		6.7		-1.8		-12.4		-21.1		-30.2			
施 工 高	増 加	22.6	12.9	22.6	16.1	19.7	11.3	13.6	9.8	5.7	8.5	15.4	9.4	16.3	7.7	9.3	18.4		11.6
	変 ら ず	66.1	66.1	66.1	72.6	73.7	69.3	64.4	77.1	47.1	72.9	50.0	47.2	49.0	59.6	46.5	46.9		51.2
	減 少	11.3	21.0	11.3	11.3	6.6	19.4	22.0	13.1	47.2	18.6	34.6	43.4	34.7	32.7	44.2	34.7		37.2
	D・I	11.3	-8.1	11.3	4.8	13.1	-8.1	-8.4	-3.3	-41.5	-10.1	-19.2	-34.0	-18.4	-25.0	-34.9	-16.3		-25.6
	<b>修正値</b>	<b>10.6</b>	<b>-4.7</b>	<b>12.3</b>	<b>0.8</b>	<b>8.4</b>	<b>-5.1</b>	<b>-3.4</b>	<b>-3.8</b>	<b>-37.6</b>	<b>-5.1</b>	<b>-17.6</b>	<b>-33.5</b>	<b>-22.8</b>	<b>-22.6</b>	<b>-31.6</b>	<b>-18.8</b>	<b>-8.8</b>	<b>-21.7</b>
	傾 向 値	12.7		12.6		12.3		9.1		0.2		-10.2		-17.9		-25.2			
収 益	増 加	25.8	16.1	17.7	14.5	13.1	11.3	10.2	9.8	3.8	6.8	7.7	7.5	10.2	5.8	4.7	8.2		9.3
	変 ら ず	59.7	58.1	64.6	71.0	78.7	67.7	67.8	78.7	45.3	71.2	51.9	49.1	44.9	53.8	46.5	48.9		51.2
	減 少	14.5	25.8	17.7	14.5	8.2	21.0	22.0	11.5	50.9	22.0	40.4	43.4	44.9	40.4	48.8	42.9		39.5
	D・I	11.3	-9.7	0.0	0.0	4.9	-9.7	-11.8	-1.7	-47.1	-15.2	-32.7	-35.9	-34.7	-34.6	-44.1	-34.7		-30.2
	<b>修正値</b>	<b>8.9</b>	<b>-7.4</b>	<b>0.8</b>	<b>-4.0</b>	<b>-0.1</b>	<b>-8.2</b>	<b>-6.3</b>	<b>-1.8</b>	<b>-43.7</b>	<b>-10.7</b>	<b>-30.0</b>	<b>-34.9</b>	<b>-37.9</b>	<b>-32.2</b>	<b>-40.2</b>	<b>-35.2</b>	<b>-2.3</b>	<b>-27.4</b>
	傾 向 値	8.2		8.4		6.2		2.8		-6.2		-17.6		-26.6		-35.6			
価 格 動 向	請 負 価 格	0.0	-6.4	4.8	4.8	1.6	1.6	3.4	-1.6	-13.2	1.7	-15.4	-15.1	-22.5	-17.4	-16.3	-16.3		-11.7
	〃 <b>修正値</b>	<b>2.6</b>	<b>-5.4</b>	<b>4.2</b>	<b>5.4</b>	<b>-2.5</b>	<b>1.5</b>	<b>4.0</b>	<b>-2.6</b>	<b>-9.6</b>	<b>2.6</b>	<b>-13.1</b>	<b>-14.0</b>	<b>-23.3</b>	<b>-15.5</b>	<b>-16.5</b>	<b>-16.6</b>	<b>6.8</b>	<b>-11.6</b>
	〃 傾 向 値	0.5		1.7		2.0		1.8		0.8		-3.4		-8.9		-14.4			
	材 料 価 格	34.4	31.2	34.4	26.3	30.0	27.9	27.6	30.0	15.4	31.1	15.7	11.6	16.6	15.7	14.2	14.6		14.3
	〃 <b>修正値</b>	<b>32.5</b>	<b>31.7</b>	<b>36.3</b>	<b>25.4</b>	<b>31.6</b>	<b>31.0</b>	<b>27.3</b>	<b>30.7</b>	<b>17.2</b>	<b>30.1</b>	<b>18.3</b>	<b>13.9</b>	<b>17.4</b>	<b>19.2</b>	<b>12.6</b>	<b>14.4</b>	<b>-4.8</b>	<b>10.9</b>
	〃 傾 向 値	33.1		34.2		34.9		33.1		29.2		24.5		20.5		17.2			
在 庫 ・ 資 金 繰 り	在 庫 数 量	0.0	-3.3	-3.3	0.0	-3.3	-4.9	-6.9	-5.0	-7.7	-3.5	-5.8	-9.6	-8.3	-7.8	-7.1	-4.2		-4.8
	〃 <b>修正値</b>	<b>-0.2</b>	<b>-3.1</b>	<b>-3.5</b>	<b>-0.5</b>	<b>-3.7</b>	<b>-5.2</b>	<b>-5.8</b>	<b>-4.6</b>	<b>-7.5</b>	<b>-2.6</b>	<b>-5.3</b>	<b>-9.1</b>	<b>-8.0</b>	<b>-7.5</b>	<b>-6.1</b>	<b>-4.4</b>	<b>1.9</b>	<b>-4.6</b>
	資 金 繰 り	1.6	-8.1	-3.2	-4.9	1.6	-6.4	-3.4	-1.6	-17.0	-15.2	-11.6	-20.8	0.0	-11.8	-13.9	-12.5		-13.9
	〃 <b>修正値</b>	<b>1.4</b>	<b>-7.9</b>	<b>-2.6</b>	<b>-4.6</b>	<b>-1.6</b>	<b>-5.6</b>	<b>-2.2</b>	<b>-4.4</b>	<b>-15.0</b>	<b>-12.5</b>	<b>-10.5</b>	<b>-19.0</b>	<b>-4.2</b>	<b>-11.6</b>	<b>-12.1</b>	<b>-15.6</b>	<b>-7.9</b>	<b>-11.1</b>
前 年 同 期 比	売 上 額	8.1		6.4		13.3		3.4		-35.9		-28.8		-32.7		-34.9			
	収 益	6.5		-1.6		6.7		0.0		-35.9		-30.8		-40.8		-32.6			
雇 用	残 業 時 間	-3.3	-1.6	0.0	-3.3	3.2	-8.2	5.1	1.7	-27.0	1.8	-17.4	-20.7	-18.3	-17.3	-23.3	-12.5		-18.6
	人 手	-29.5	-32.3	-36.6	-30.0	-29.5	-35.0	-39.0	-31.1	-22.6	-36.2	-23.1	-30.2	-20.4	-21.2	-14.0	-18.7		-9.3
借 入 金	借入をした/借入の予定あり(%)	32.8	27.9	31.1	18.0	38.3	22.0	32.8	23.3	46.2	26.3	42.3	33.3	25.0	22.4	19.5	6.4		14.3
	借入しない/借入の予定なし(%)	67.2	72.1	68.9	82.0	61.7	78.0	67.2	76.7	53.8	73.7	57.7	66.7	75.0	77.6	80.5	93.6		85.7
	借 入 難 易 度	<b>1.9</b>		<b>7.6</b>		<b>11.5</b>		<b>8.0</b>		<b>8.7</b>		<b>-4.6</b>		<b>-2.6</b>		<b>-8.1</b>			
有効回答事業所数		62		62		61		59		53		52		49		43			

# 建設業

## 転記表 No.2

2021年1月～3月期

注：各項目の右側は、前期調査における予想(予定)値です。

項 目	調査期		2019年			2020年			2020年			2020年			2021年		対 前期比	2021年 4～6月 期
	4月～6月期	7月～9月期	10月～12月期	1月～3月期	4月～6月期	7月～9月期	10月～12月期	1月～3月期	4月～6月期	7月～9月期	10月～12月期	1月～3月期	4月～6月期					
設備投資動向(%)	現在の設備	0.0	-6.6	-3.4	0.0	-6.7	-3.4	-3.5	-8.3	-7.8	-3.5	-2.0	-6.0	-4.3	-3.9	-4.9	-6.4	-4.9
	実施した・予定あり	23.3	22.0	20.3	20.7	33.3	29.3	21.1	31.7	21.6	23.6	25.5	26.0	29.2	16.0	19.5	22.2	17.1
	事業用土地・建物	21.4	15.4	25.0	25.0	20.0	35.3	25.0	15.8	27.3	23.1	7.7	7.7	-	25.0	12.5	-	14.3
	機械・設備の新・増設	28.6	38.5	33.3	33.3	20.0	17.6	16.7	15.8	54.5	38.5	53.8	30.8	50.0	75.0	62.5	50.0	57.1
	機械・設備の更改	21.4	23.1	33.3	25.0	20.0	23.5	8.3	15.8	18.2	7.7	23.1	30.8	35.7	25.0	37.5	40.0	14.3
	事務機器	35.7	15.4	25.0	25.0	35.0	35.3	16.7	31.6	36.4	7.7	23.1	23.1	28.6	12.5	25.0	30.0	14.3
	車両	42.9	61.5	16.7	41.7	60.0	17.6	41.7	57.9	45.5	38.5	53.8	46.2	57.1	37.5	37.5	70.0	71.4
	その他	7.1	-	8.3	-	5.0	5.9	8.3	-	-	-	-	7.7	-	-	-	-	-
	実施しない・予定なし	76.7	78.0	79.7	79.3	66.7	70.7	78.9	68.3	78.4	76.4	74.5	74.0	70.8	84.0	80.5	77.8	82.9
	経営上の問題点(%)	売上の停滞・減少	27.4		25.8		23.0		27.1		49.1		36.5		38.8		55.8	
人手不足		33.9		40.3		44.3		39.0		24.5		28.8		12.2		18.6		
大手企業との競争の激化		14.5		16.1		9.8		6.8		9.4		7.7		6.1		9.3		
同業者間の競争の激化		21.0		24.2		23.0		20.3		28.3		17.3		28.6		27.9		
親企業による選別の強化		1.6		1.6		6.6		-		1.9		-		-		-		
合理化の不足		1.6		1.6		6.6		-		3.8		3.8		4.1		4.7		
利幅の縮小		17.7		9.7		16.4		18.6		18.9		17.3		26.5		14.0		
材料価格の上昇		17.7		22.6		11.5		15.3		7.5		9.6		12.2		16.3		
下請の確保難		12.9		19.4		14.8		18.6		13.2		13.5		12.2		4.7		
駐車場・資材置場の確保難		6.5		1.6		6.6		5.1		3.8		3.8		-		-		
人件費の増加		21.0		19.4		16.4		11.9		13.2		19.2		12.2		11.6		
人件費以外の経費の増加		4.8		1.6		-		3.4		1.9		3.8		4.1		4.7		
技術力の不足		8.1		8.1		3.3		3.4		5.7		5.8		6.1		4.7		
代金回収の悪化		-		1.6		1.6		3.4		5.7		1.9		-		-		
天候の不順		8.1		8.1		14.8		8.5		9.4		13.5		6.1		2.3		
地場産業の衰退		-		1.6		-		1.7		1.9		-		2.0		-		
大手企業・工場の縮小・撤退		-		1.6		1.6		-		-		3.8		8.2		-		
その他		-		1.6		-		3.4		11.3		7.7		2.0		4.7		
問題なし		6.5		6.5		4.9		6.8		3.8		7.7		12.2		7.0		
重点経営施策(%)		販路を広げる	46.8		35.5		41.0		27.1		37.7		34.6		42.9		39.5	
	経費を節減する	35.5		32.3		36.1		42.4		47.2		40.4		28.6		32.6		
	情報力を強化する	24.2		21.0		19.7		20.3		24.5		21.2		20.4		27.9		
	新しい工法を導入する	4.8		6.5		8.2		5.1		5.7		1.9		2.0		4.7		
	新しい事業を始める	3.2		-		3.3		1.7		1.9		1.9		4.1		2.3		
	技術力を高める	25.8		30.6		18.0		20.3		26.4		30.8		28.6		27.9		
	人材を確保する	33.9		40.3		39.3		35.6		22.6		32.7		32.7		25.6		
	パート化を図る	-		-		1.6		-		-		1.9		-		-		
	教育訓練を強化する	6.5		9.7		6.6		8.5		13.2		9.6		12.2		9.3		
	労働条件を改善する	8.1		3.2		4.9		3.4		5.7		5.8		2.0		2.3		
	不動産の有効活用を図る	3.2		3.2		4.9		5.1		3.8		-		2.0		2.3		
	その他	-		1.6		-		-		1.9		1.9		-		-		
特になし	4.8		4.8		3.3		5.1		5.7		7.7		16.3		9.3			
有効回答事業所数	62		62		61		59		53		52		49		43			

江戸川区 産業経済部 産業経済課 計画係

TEL:03-5662-9014 (直通)